

Pioneer DJ

マルチプレーヤー

CDJ-2000NXS2



<http://pioneerdj.com/support/>

上記のPioneer DJサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

<http://rekordbox.com/>

rekordbox™の各種情報やサービスについては、上記の弊社ホームページをご覧ください。

<http://kuvo.com/>

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この冊子と「取扱説明書（クイックスタートガイド）」は、どちらも必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書（クイックスタートガイド）」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

本書では、コンピューター画面に表示される画面名、タッチキー、メニュー名、および製品本体ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。

記載例：

- [LOOP MODE] をタッチする
- [CUE] ボタンを押す
- [UTILITY] 画面が表示されます。
- Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Pioneer] > [rekordbox 3.x.x] > [rekordbox 3.x.x] をクリックする
- LAN ケーブルを [LINK] 端子に正しく接続してください。

01 はじめに

本機の特長	3
-------	---

02 準備する

対応ソースについて	5
使用できるメディア	5
再生できる音楽ファイルフォーマット	7
ソフトウェアを準備する	8

03 接続する

各端子の説明	9
基本スタイル	9
DJ ソフトウェアを使う	12

04 各部の名前とはたらき

コントロールパネル	13
本体背面部	16
本体前面部	16
本体表示部	17
ジョグダイヤル表示部	18

05 操作する（基本編）

電源の入れかた	19
電源の切りかた	19
ディスクの入れかたと出しかた	19
SD メモリーカードの入れかたと出しかた	19
USB デバイスの付けかたと外しかた	20
再生する	20
ジョグダイヤルを操作する	22
再生と停止の速度を調整する	22

06 操作する（応用編）

キューを設定する	23
ループを設定する	23
ホットキューを設定する	24
キューポイントまたはループポイントを保存する	26
保存されたキューポイントまたはループポイントを消去する	26
オートキューのキューポイントを設定する	26
ビートジャンプ、ループムーブを使う	27
スリップを使う	27
波形表示部に触れた位置から再生する	28
ビートシンクを使う	28
拍位置を調整する（アジャストビートグリッド）	28
他機器と組み合わせて操作する	29
トラックをブラウズする	29

その他のブラウズ操作	30
ホットキューバンクを使う	31
演奏履歴を参照する (HISTORY)	31
タグリストを編集する	31
ロードされているトラックの詳細情報を表示する	33
曲のレーティングを変更する	33
他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示する	33

07 設定を変更する

設定内容を記録メディア (SD, USB) に記録する	34
記録メディア (SD, USB) に記録した設定内容を呼び出す	34
記録メディア (SD, USB) に設定されている色を変更する	34
[UTILITY] 画面を表示する	34
設定を変更する	34
PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する	36

08 DJ ソフトウェアを使う

DJ ソフトウェアを操作する	37
----------------	----

09 その他

故障かな？と思ったら	39
液晶画面について	40
タッチディスプレイのクリーニングについて	40
エラー表示	40
本体表示部表示アイコン一覧	41
iPod/iPhone/iPad について	41
保証とアフターサービス	42
使用上のご注意	42
ディスクの取り扱いかた	42
商標および登録商標について	43
Apple Lossless Audio Codec	43
FLAC	43

はじめに

本機の特長

本機はディスコ / クラブシーンで求められるさまざまな機能、耐久性、および操作性を実現するプロ DJ 向けマルチプレーヤーです。USB デバイスやコンピューターだけでなく、モバイルデバイス（スマートフォンなど）の楽曲を使って本格的な DJ プレイをすることができます。PRO DJ LINK、WAVE、BEAT SYNC など、DJ パフォーマンスのための多彩な機能を備えるだけでなく、高音質、高信頼性設計及び操作性の高いパネルレイアウトを採用することにより、すべての DJ のパフォーマンスを強力にサポートします。

MULTI MEDIA、MULTI FORMAT

USB デバイス（フラッシュメモリーまたはハードディスク）、SD メモリーカード、モバイルデバイス、コンピューター、ディスク（CD または DVD）内に記録されている音楽ファイルを再生できます。また、音楽ファイルのフォーマットは、MP3、AAC、WAV、AIFF、FLAC、Apple Lossless、音楽 CD（CD-DA）に対応しています。音楽管理ソフトウェア rekordbox を使って、DJ プレイに必要なプレイリスト、キュー、ループ、およびビートグリッドなどを自宅ですっきり準備できます。当日はディスコ / クラブでの DJ プレイに安心して専念できます。音楽ファイルの入手から DJ プレイまで、各ステップをスムーズに連携させた DJ サイクルを実現します。

rekordbox (Mac/Windows)

rekordbox は、楽曲管理と DJ パフォーマンスができる複合ソフトウェアです。

無償でダウンロードできる音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows) を使って、コンピューター内の音楽ファイルを管理（解析、設定、作成、履歴保存）できます。

rekordbox (Mac/Windows) で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせることによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

- 本書では、Mac/Windows 版 rekordbox を rekordbox (Mac/Windows) と表記しています。また、rekordbox (Mac/Windows) および rekordbox (iOS/Android) を同時に表現する場合や、rekordbox 機能そのものを表現する場合に rekordbox と表記しています。

rekordbox (iOS/Android)

無償でダウンロードできるスマートフォンアプリ rekordbox (iOS/Android) を使って、モバイルデバイス内の音楽ファイルを管理（解析、設定、作成、履歴保存）できます。rekordbox (iOS/Android) で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

- 本書では、モバイルデバイス版 rekordbox を rekordbox (iOS/Android) と表記しています。

PRO DJ LINK

SD メモリーカード、または USB デバイス（フラッシュメモリーまたはハードディスク）を使った「SD & USB Export」と、rekordbox がインストールされているコンピューターを使った「rekordbox LINK Export」があります。

❖ SD & USB Export

SD メモリーカード / USB デバイスを使って、rekordbox の音楽ファイルや管理データを受け渡しできます。ディスコやクラブにコンピューターを持ち込む必要がありません。

自宅・スタジオ



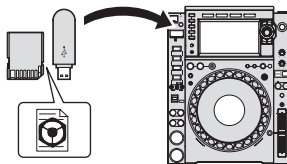
- 音楽ファイルをコレクションに追加・解析する。
- rekordbox で準備する。



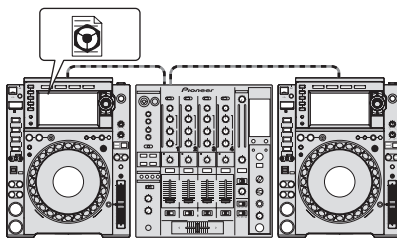
rekordbox のデータを記録メディア（SD、USB）に書き出す。



ディスコ・クラブ



記録メディア（SD、USB）を DJ プレーヤーにセットする。



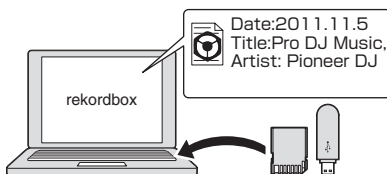
- rekordbox のデータを使って演奏する。
- PRO DJ LINK を使って rekordbox のデータを共有する。



演奏履歴が記録メディア（SD、USB）に保存される。



自宅・スタジオ

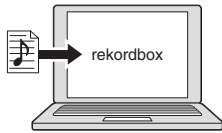


演奏履歴を rekordbox で確認・管理する。

❖ rekordbox LINK Export

本機とコンピューターを USB ケーブルまたは LAN ケーブルを使って接続すると、rekordbox の音楽ファイルや管理データを直接受け渡すことができます。SD メモリーカード / USB デバイスにデータをエクスポートする手間を省けます。

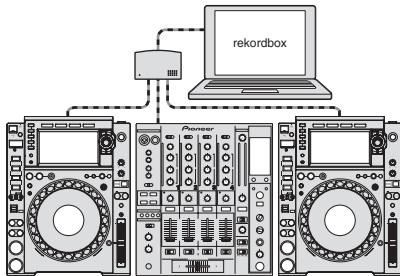
自宅・スタジオ



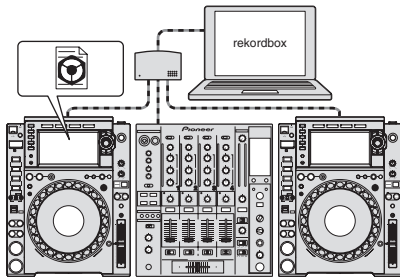
- 音楽ファイルをコレクションに追加・解析する。
- rekordbox で準備する。



ディスコ・クラブ



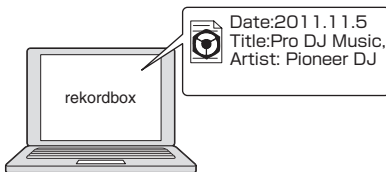
コンピューターと DJ プレーヤーを接続する。



- rekordbox のデータを使って演奏する。
- PRO DJ LINK を使って rekordbox のデータを共有する。



自宅・スタジオ



演奏履歴を rekordbox で確認・管理する。

TOUCH DISPLAY

本機は音楽ファイルのブラウズや DJ プレイ時に必要な情報を分かりやすく表示する、高精細大型フルカラータッチディスプレイを搭載しています。

❖ BROWSE

大型カラー LCD を採用。テキストデータだけでなく、ジャケット写真も表示できます。音楽ファイルの情報をわかりやすく表示する GUI と、簡単に操作できるロータリーセレクターの組み合わせにより、ストレスなく選曲できます。

❖ TRACK FILTER

rekordbox で楽曲に付加したタグ情報や BPM、KEY などの情報を基にした絞り込み検索ができます。指定した条件にマッチする楽曲を素早く探し出すことができます。

❖ NEEDLE SEARCH

全体波形 (WAVE) を指でタッチすると、タッチした付近の音を瞬時に再生できます。直感的な操作による素早いポイントサーチを実現します。

❖ WAVE/WAVE ZOOM

高精細な全体波形 (WAVE) を表示することにより楽曲全体の構成を視覚的に把握できます。また帯域別に色分けして、拡大 / 縮小可能な拡大波形 (WAVE ZOOM) を表示することにより、瞬時に楽曲展開を把握できます。

MY SETTINGS

本機の機能設定を、SD メモリーカード / USB デバイスやモバイルデバイスに保存し、必要に応じて本機に反映できます。また、rekordbox 上で本機の設定を行ない、直接本機に転送することもできます。これにより、クラブにおける DJ 交代時に、事前に準備しておいた自分用の設定に即座に切り換えられます。

BEAT SYNC

rekordbox で解析された楽曲の GRID 情報をもとに、本機で再生する楽曲のテンポ (BPM) と拍位置を PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーに自動的に合わせることができます。ビートシンク機能によってミックスをアシストすることで、ミキシングやエフェクトなどのパフォーマンスが可能になり、DJ プレイの幅が大きく広がります。

HIGH SOUND QUALITY

デジタル出力 / アナログ出力の両面において、徹底した音質の改善・向上を図っています。デジタル面では、96 kHz/24 bit ハイレゾ音源の再生・伝送に対応することで、ハイレゾ音源の微細な音までも忠実に描き出し、クリアで量感・音場感あふれる高音質を実現しています。アナログ面では、広帯域において低ノイズ・低歪な 32 bit 高性能 D/A コンバーターを搭載し、さらにアナログ電源の単独化により不要なノイズを極限まで低減することで、原音に忠実なサウンドを実現しています。

SOUND CARD

本機は DJ ソフトウェアをコントロールする専用インターフェイスや MIDI インターフェイスを装備しています。またサウンドカードを内蔵しているため、他の機器ともシンプルに接続できます。

KUVO

KUVO は「ダンスミュージックを楽しむ次世代空間を創造する」をコンセプトに、クラブ・DJ・クラブがつながりクラブ内外問わず多くの人々がクラブカルチャーを今まで以上に楽しむためのサービスです。サービスの内容についてはこちらをご覧ください。

<http://kuvo.com/>

準備する

対応ソースについて





本機は以下のソースに対応しています。

- ディスク (p.5)
- SD メモリーカード (p.6)
- USB デバイス (p.6)
- コンピューター (p.21)

使用できるメディア

ディスクについて

本機は以下のディスクを再生できます。

種類	マーク ^①	対応フォーマット	対応ファイルシステム
CD		<ul style="list-style-type: none"> • 音楽 CD (CD-DA) 	—
CD-R		<ul style="list-style-type: none"> • 音楽 CD (CD-DA) • CD-ROM 	ISO9660 level 1, ISO9660 level 2, Romeo and Joliet
CD-RW			
CD-TEXT ^②		音楽 CD (CD-DA)	—
DVD-R DVD-R DL (二層)			
DVD-RW		DVD-ROM	ISO9660 level 1, ISO9660 level 2, Romeo and Joliet
DVD+R DVD+R DL (二層)			
DVD+RW			

① 表中のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。

② CD-TEXT に記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。

❖ 再生できないディスク

- DTS-CD
- フォト CD
- ビデオ CD
- CD グラフィックス (CD-G)
- ファイナライズしていない CD
- DVD ビデオ
- DVD オーディオ
- DVD-RAM
- ファイナライズしていない DVD

❖ CD-R/-RW について

CD-R/-RW に記録されている音楽ファイルを再生できます。

フォルダー階層 最大8階層 (8階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません)。

最大フォルダー数 2 000 フォルダー

最大ファイル数 3 000 ファイル

フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。

❖ コンピューターや DVD レコーダーで作成したディスクの再生について

アプリケーションの設定やコンピューターの環境設定によっては、コンピューターで作成したディスクは再生できないことがあります。本機で再生可能なフォーマットで記録してください。詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。コンピューターや DVD レコーダーで作成したディスクは、ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくないときは、再生できないことがあります。ディスクの取り扱いについては、42 ページの「ディスクの取り扱いかた」をご覧ください。

❖ バックアップディスク作成のおすすめ

CD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RW、DVD-R DL (二層)、DVD+R DL (二層) は、一時停止またはキューポイントでの一時停止を長時間続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなる場合があります。ループ再生を特定の場所で極端に繰り返したときも、その場所が再生しづらくなる場合があります。大切なディスクを再生するときは、バックアップディスクの作成をお勧めします。

❖ コピーコントロール CD について

本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作および性能は保証できません。

❖ DualDisc の再生について

「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。DVD 面ではない、オーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

❖ 8 cm ディスクについて

8 cm ディスクは再生できません。また、8 cm アダプターをディスクに取り付けて本機で再生しないでください。ディスクの回転中にアダプターが外れてディスクの破損および本機の故障の原因になります。

SD メモリーカードについて

SD 規格に準拠した SD メモリーカードに記録されている音楽ファイルを再生できます。

以降の本書説明内での「SD メモリーカード」は、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SD メモリーカードアダプタを装着した miniSD メモリーカード、SD メモリーカードアダプタを装着した microSD メモリーカードを総称しています。

フォルダー階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダー数	無制限 (1 つのフォルダー内に 10 000 を超えるフォルダーは表示できません)。
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダー内に 10 000 を超えるファイルは表示できません)。
対応カード ^①	<ul style="list-style-type: none">SD メモリーカード: 8 MB ~ 2 GBSDHC メモリーカード: 4 GB ~ 32 GB
対応フォーマット	<ul style="list-style-type: none">SD メモリーカード: FAT12, FAT16 (SD 規格に準拠)SDHC メモリーカード: FAT32 (SD 規格に準拠)

① CPRM には対応していません。

- 上記の対応フォーマットでフォーマットされていない SD メモリーカードを挿入すると、**[FORMAT SD]** と表示されて使用できません。コンピューターなどでフォーマットし直してから使用してください。
- 本機はすべての SD メモリーカードの動作を保証するものではありません。

❖ SD メモリーカードをお使いいただくときのご注意

- SD メモリーカードは精密電子機器です。取り扱いにご注意ください。曲げたり、強い力や衝撃を加えたり、落としたりすると SD メモリーカードが壊れることがあります。また、静電気や電気ノイズが発生しやすい環境で使用・保管しないでください。大切なデータは定期的に複製を作成することをおすすめします。
- 本機との接続により、SD メモリーカードにお客様が記録されたデータが損失またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 取り出した SD メモリーカードは、専用ケースに入れるなどして保管してください。
- お使いの SD メモリーカードによっては期待したパフォーマンスが得られないことがあります。

USB デバイスについて

本機は、外付けハードディスク、携帯フラッシュメモリーなどの USB マスストレージクラスの USB デバイスに記録されている音楽ファイルを再生できます。

フォルダー階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダー数	無制限 (1 つのフォルダー内に 10 000 を超えるフォルダーは表示できません)。
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダー内に 10 000 を超えるファイルは表示できません)。
対応ファイルシステム	FAT16, FAT32, HFS+ (NTFS には対応していません)

rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスを USB 経由で接続することにより、rekordbox の管理している楽曲を再生できます。対応機器については Pioneer DJ サポートサイト (<http://pioneerdj.com/support/>) でご確認ください。rekordbox (iOS/Android) については rekordbox のオンラインサポート (<http://www.rekordbox.com>) をご覧ください。

フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。

制限を超えるフォルダー、ファイルは表示できません。

❖ 使用できない USB デバイス

- 外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使えません。
- USB ハブは使えません。
- iPod は使えません。(iPad, iPod touch, iPhone 内の音楽データは rekordbox (iOS/Android) のライブラリに加えられない限り、本機で再生できません。)

❖ USB デバイスをお使いいただくときのご注意

- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。本機との接続により、USB デバイスにお客様が記録されたデータが損失、またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の USB デバイス挿入口に許容量以上の電流が流れると USB インジケータが点滅し、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すためには、本機に接続された USB デバイスを取り外してください。過電流が検出された USB デバイスの再使用は避けてください。以上の方法で正常な状態に戻らない (通信しない) ときは、いったん本機の電源をオフしてから再度電源をオンしてください。
- USB デバイスに複数のパーティションの設定をしているときは、最初のパーティションだけ使えます。(rekordbox のライブラリ情報がある場合は、rekordbox のライブラリ情報の格納されているパーティションが優先されます。)
- フラッシュカードリーダー搭載の USB デバイスは、正常に動作しないことがあります。
- お使いの USB デバイスによっては、期待したパフォーマンスが得られないことがあります。

再生できる音楽ファイルフォーマット

- 本機は以下のフォーマットに従った音楽ファイルに対応しています。
- ディスク内の WAV(88.2 kHz、96 kHz)、AIFF(88.2 kHz、96 kHz)、Apple Lossless、FLAC は再生できません。
- 本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。

種類	ファイル拡張子	対応フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング周波数	エンコード方式
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3	16 bit	32 kbps ~ 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AUDIO LAYER-3	16 bit	8 kbps ~ 160 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz	CBR, VBR
AAC	.m4a, .aac, .mp4	MPEG-4 AAC LC	16 bit	16 kbps ~ 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AAC LC	16 bit	16 kbps ~ 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
WAV	.wav	WAV	16 bit, 24 bit	—	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	非圧縮 PCM
AIFF	.aif, .aiff	AIFF	16 bit, 24 bit	—	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	非圧縮 PCM
Apple Lossless	.m4a	ALAC	16 bit, 24 bit	—	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	可逆圧縮
FLAC	.flac, .fla	FLAC	16 bit, 24 bit	—	44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	可逆圧縮

MP3 ファイルについて

MP3 ファイルには、固定ビットレート (CBR:Constant Bit Rate) と可変ビットレート (VBR:Variable Bit Rate) があります。本機ではどちらのファイルでも再生できますが、VBR は CBR に比べサーチやスーパー・ファースト・サーチの速度が遅くなります。操作性を優先するときは CBR で記録することをお勧めします。

AAC ファイルについて

- AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使われる音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- AAC データは、データ作成に使ったアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。
- 本機では、iTunes® によってエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルのほか、「.aac」、「.mp4」を再生できます。ただし、iTunes STORE 等で購入された著作権が保護されている AAC ファイルは再生できません。またエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。

ID3 タグについて

音楽ファイルから読み込めるタグ情報は、ID3 タグ (v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0) またはメタタグです。

音楽ファイルのアートワークについて

音楽ファイルに追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG です (拡張子: ".jpg"、".jpeg")。

- 800 x 800 ドットより大きいファイルは表示できません。

文字表示について

❖ CD-TEXT

本機は CD-TEXT に対応しています。CD-TEXT で記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。対応文字コードは以下のとおりです。

- ASCII
- ISO-8859
- MS-JIS
- Mandarin Chinese Character Code

❖ 音楽ファイル

トラック名などを表示する際、Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示したいときは、[LANGUAGE] 設定を変更してください。

- ☞ 「言語を変更する」(p.36)

ソフトウェアを準備する

音楽管理ソフトウェア rekordbox、ドライバーソフトウェアは付属されていません。

rekordbox、ドライバーソフトウェアを利用するには、rekordbox サイトおよび Pioneer DJ サポートサイトにアクセスして、ソフトウェアをダウンロードしてください。

- インターネットの接続に必要なコンピューター、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

rekordbox について

rekordbox は楽曲管理と DJ パフォーマンスができる複合ソフトウェアです。

rekordbox で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせることによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

❖ rekordbox (Mac/Windows) を入手する

1 コンピューターでウェブブラウザを起動し、rekordbox サイトにアクセスする

<http://www.rekordbox.com>

2 rekordbox サイトで [Download] をクリックし、ダウンロードページから rekordbox をダウンロードする
rekordbox (Mac/Windows) の各種情報やサービスについては、上記のサポートサイトをご覧ください。

❖ rekordbox (iOS/Android) について

rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスを USB 経由で接続することにより、rekordbox の管理している楽曲を再生できます。対応機器については Pioneer DJ サポートサイト (<http://pioneerdj.com/support/>) でご確認ください。

- rekordbox (iOS/Android) のインストールについては、弊社ウェブサイト (<http://www.rekordbox.com>) をご覧ください。

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

オンラインサポートのご利用について

rekordbox の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルおよびオンラインマニュアルをお読みいただくとともに rekordbox のオンラインサポートに掲載されております FAQ をご確認ください。

<rekordbox のオンラインサポート>

<http://www.rekordbox.com>

ドライバーソフトウェアについて

❖ オーディオドライバーソフトウェア (Windows)

- 本ドライバーソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバーです。
- Mac OS X をお使いのときは、ドライバーソフトウェアをインストールする必要はありません。

❖ rekordbox (Mac/Windows) USB 接続 (LINK Export) ドライバーソフトウェア

- 本ドライバーソフトウェアは、rekordbox (Mac/Windows) と本機を USB 接続 (LINK Export) するための専用 ドライバーです。

❖ ドライバーソフトウェアを入手する

1 コンピューターでウェブブラウザを起動し、下記の Pioneer DJ サポートサイトにアクセスする

<http://pioneerdj.com/support/>

2 Pioneer DJ サポートサイトで [CDJ-2000NXS2] の [Software Download] をクリックする

3 ドライバーソフトウェアのアイコンをクリックし、ダウンロードページからドライバーソフトウェアをダウンロードする

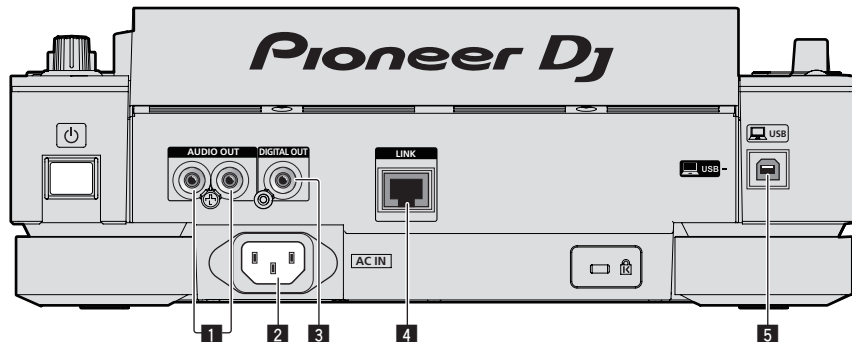
- ドライバーソフトウェアのインストールについては、Pioneer DJ サポートサイトをご覧ください。

接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

- LAN ケーブルを使って接続を行う際は、必ず本製品に付属の LAN ケーブルまたは STP (シールドケーブル) をお使いください。
- PRO DJ LINK を使って音楽ファイルまたは情報を共有しているときは、LAN ケーブルを取り外さないでください。

各端子の説明



1 AUDIO OUT L/R 端子

音声ケーブル (付属) を接続します。

2 AC IN

コンセントと接続します。

電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

必ず付属の電源コードをお使いください。

3 DIGITAL OUT 端子

デジタルオーディオケーブルを接続します。

4 LINK 端子

LAN ケーブル (付属) を接続します。

5 USB 端子

コンピューターと接続します。



注意

製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらずに見る場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

基本スタイル

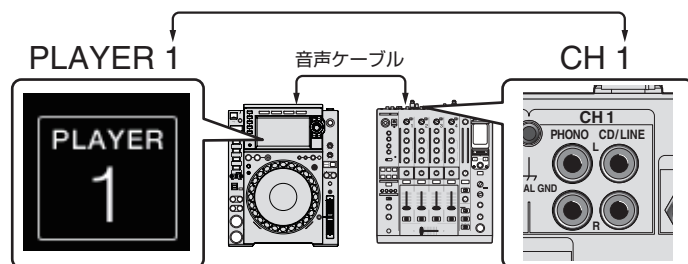
本機のプレイには、コンピューターにインストールされた rekordbox で準備されたトラックを主に使用します。

- rekordbox の操作については、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルをご覧ください。rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルは、rekordbox (Mac/Windows) の [ヘルプ] メニューからご覧いただけます。
- また、DJ プレーヤーと DJ ミキサーは PRO DJ LINK 接続を行い、LAN ケーブル (CAT5e) を使って、PRO DJ LINK 対応のプレーヤーを最大 4 台まで接続できます。
- 組み合わせる機種によっては、スイッチングハブ (市販) が必要です。100 Mbps 以上のスイッチングハブをお使いください。スイッチングハブによっては正常に動作しないことがあります。
- LAN ポートが 1 つしかないミキサーと接続する場合は、スイッチングハブ (市販) が必要です。LAN ポートがシステム内の DJ プレーヤーおよびコンピューターの台数分あるミキサーの場合は、ハブは使わずに直接ミキサー背面の LAN ポートに接続してください。
- 無線ルーター (市販) およびアクセスポイント (市販) は IEEE802.11n, IEEE802.11ac のいずれかに対応した製品をお使いください。使用環境の電波状況や、無線ルーターおよびアクセスポイントによっては、PRO DJ LINK 接続が正常に動作しない場合があります。

LAN ポートが 1 つしかないミキサーに接続する場合

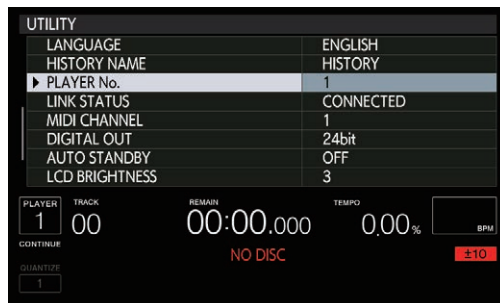
LAN ポートが 1 つしかないミキサーにスイッチングハブを使って接続する場合、rekordbox の音楽ファイル管理機能を最大限に使用するために、音声ケーブルまたはデジタルオーディオケーブルが接続されたミキサー側のチャンネル番号と本体表示部左下部のプレーヤー番号を合わせてください。

(例: チャンネル 1 に音声ケーブルで接続する場合)



プレーヤー番号を変更したい場合は、以下の手順に従って変更してください。

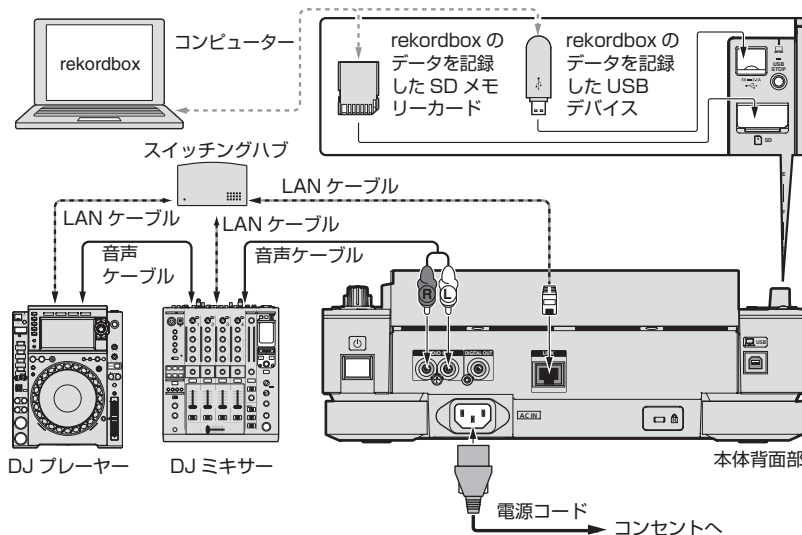
- ① 記録メディア (SD, USB) を取り外し、LAN ケーブルを抜く
- ② [MENU/UTILITY] ボタンを 1 秒以上押して、[UTILITY] 画面を表示させる
- ③ ロータリーセレクターを回して [PLAYER No.] を選び、ロータリーセレクターを押す
- ④ ロータリーセレクターを回してプレーヤー番号を選び、ロータリーセレクターを押して決定する



- ⑤ [MENU/UTILITY] ボタンを押して、設定を終了する

PRO DJ LINK(SD & USB Export)

- DJ ブースにコンピューターを持ち込まずに、メモリーデバイス (フラッシュメモリー、ハードディスク等) を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを本機と受け渡すことができます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、およびホットキューなどの情報を使って演奏できます。



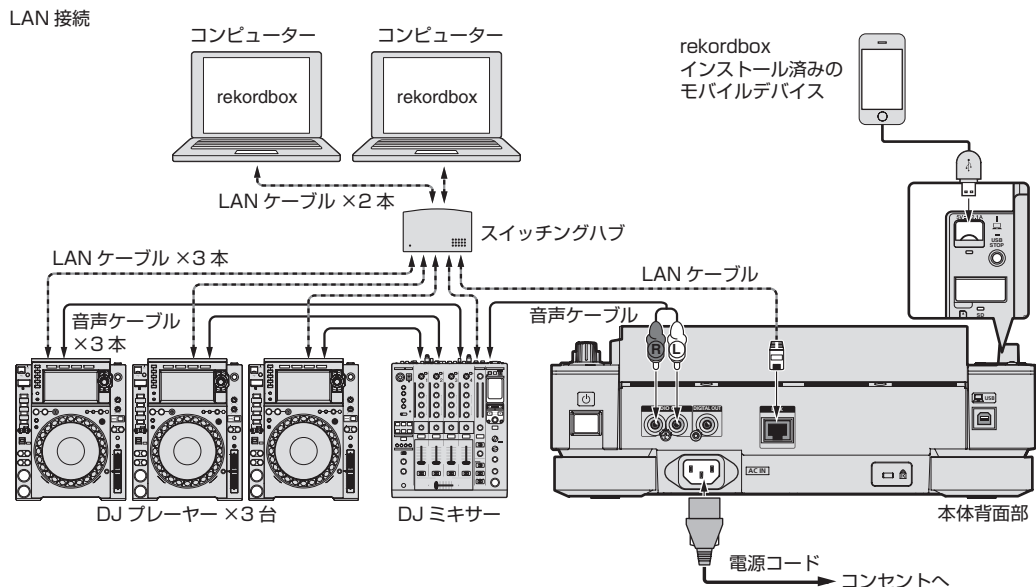
PRO DJ LINK(LINK Export)

- DJ ブースにコンピューターを持ち込み、rekordbox がインストールされているコンピューターと LAN ケーブル (CAT5e)、USB ケーブル または無線 LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox 内のトラックを選曲および再生できます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、およびホットキューなどの情報を使って演奏できます。
- rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスと USB ケーブルまたは無線 LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox 内のトラックを選曲および再生できます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、およびホットキューなどの情報を使って演奏できます。
- 有線 LAN または、USB 接続 (LINK Export) の場合、rekordbox (Mac/Windows) がインストールされたコンピューターを最大 2 台まで接続できます。
- 無線 LAN (Wi-Fi) 接続の場合、rekordbox がインストールされたコンピューターまたはモバイルデバイスを最大 4 台まで接続できます。

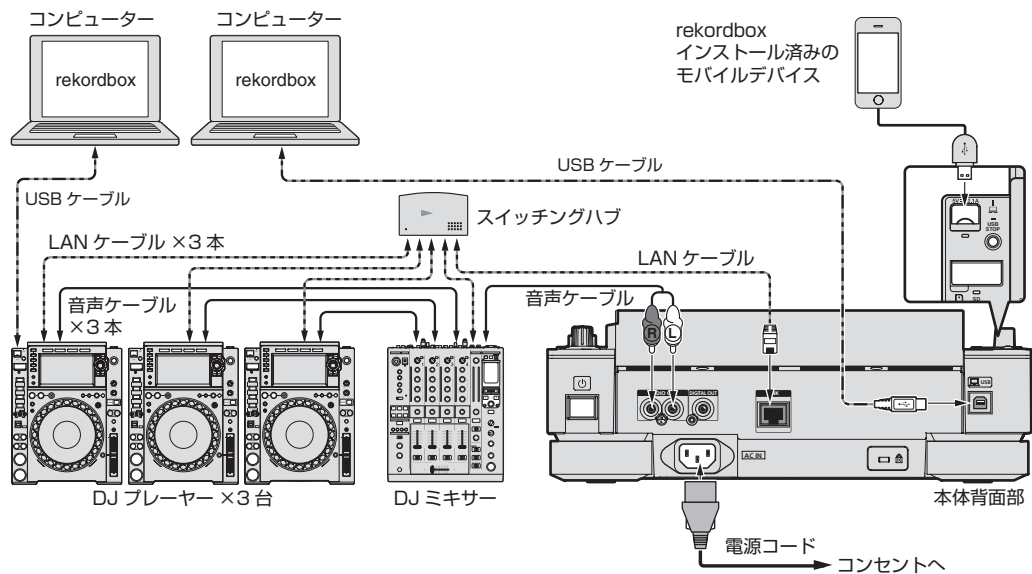
本製品に接続できる iPod/iPhone/iPad

- 本製品は iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4s、iPad Pro、iPad mini4、iPad Air2、iPad mini3、iPad Air、iPad mini2、iPad mini、iPad (3rd and 4th generation)、iPad2、iPod touch (5th and 6th generation) に対応しています。
- 最新の対応機器については Pioneer DJ ホームページ (<http://pioneerdj.com/support/>) でご確認ください。

❖ スイッチングハブを使うとき

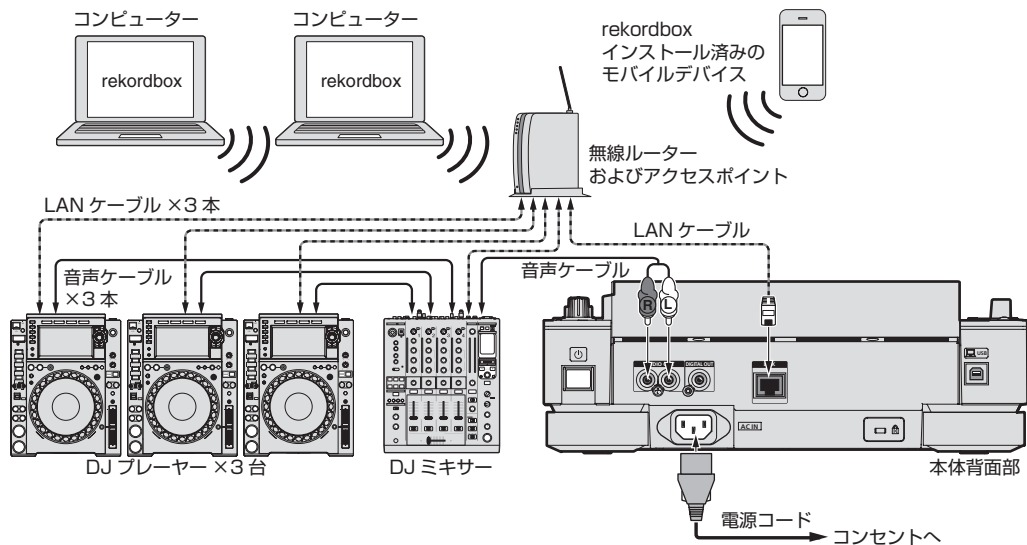


USB 接続 (LINK Export)



- 本製品と iPod、iPhone および iPad を接続する場合はお手持ちのケーブルをご使用ください。
- LAN ポートが 1 つしかないミキサーと接続する場合は、スイッチングハブ (市販) が必要です。LAN ポートがシステム内の DJ プレーヤーおよびコンピュータの台数分あるミキサーの場合は、ハブは使わずに直接ミキサー背面の LAN ポートに接続してください。
- rekordbox (Mac/Windows) がインストールされたコンピュータを USB 接続する場合は、あらかじめドライバソフトウェアのインストールが必要となります。詳細については、8 ページの「ドライバーソフトウェアについて」をご覧ください。

❖ 無線ルーターおよびアクセスポイントを使うとき



ご注意

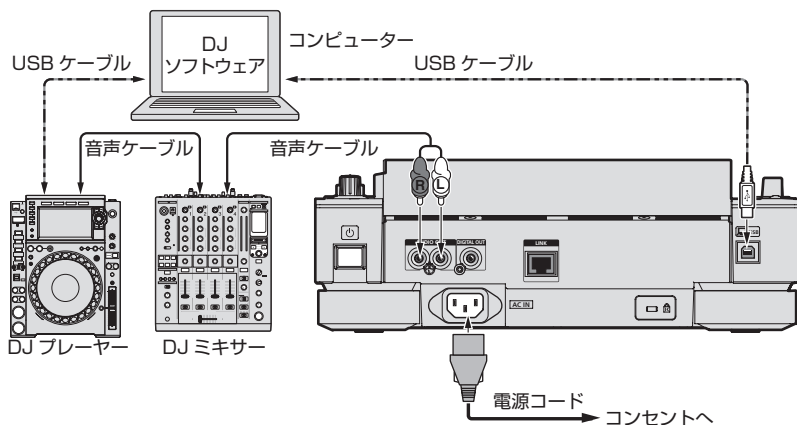
rekordbox の音楽ファイル管理機能を最大限に使用するために、ミキサーに入力した音声ケーブル、デジタルオーディオケーブルのチャンネルとプレーヤー番号を合わせてください。

プレーヤー番号が異なるときは [UTILITY] 画面から [PLAYER No.] を変更してください。

- 本機にメディアがセットされているときは、[PLAYER No.] が灰色で表示され、変更できません。メディアを抜き、LAN ケーブルを抜くなどして、リンクをオフにしてから設定を変更してください。

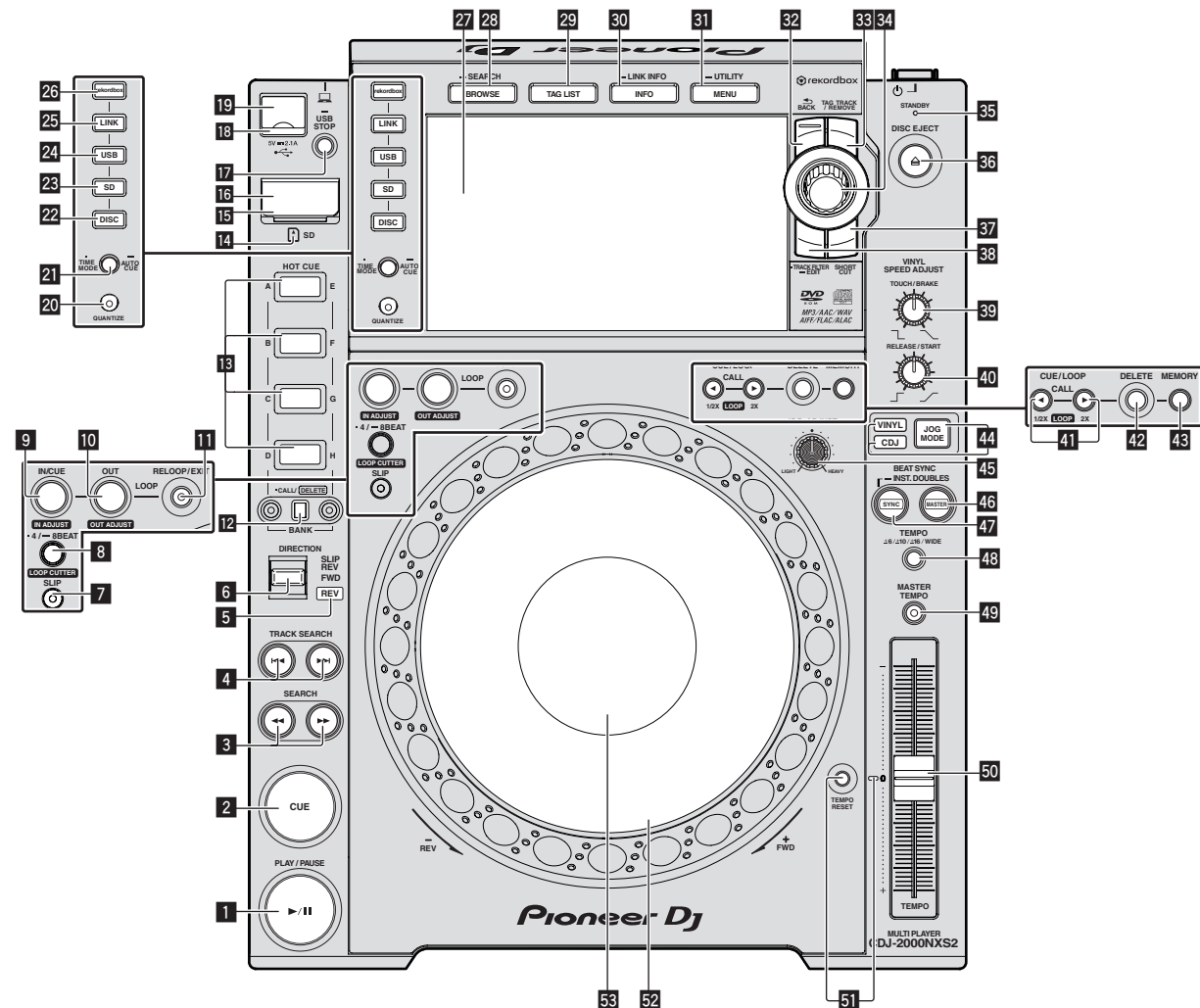
DJ ソフトウェアを使う

本機はボタンやテンポ調整つまみなどの操作情報を汎用の MIDI 形式、HID 形式で出力します。MIDI 対応、または HID 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。詳しくは、8 ページの「ドライバーソフトウェアについて」および 37 ページの「DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください。



各部の名前とはたらき

コントロールパネル



1 PLAY/PAUSE ▶/II ボタン

トラックを再生しているとき点灯します。一時停止しているとき点滅します。

⇒ 「一時停止する」(p.21)

2 CUE ボタン

キューポイントが設定されているとき点灯します(頭出し(トラックサーチ)中を除く)。一時停止中に新しいキューポイントが設定できるとき点灯します。

⇒ 「キューを設定する」(p.23)

3 SEARCH ◀◀, ▶▶ ボタン

ボタンを押している間、トラックを早送り/早戻しします。

⇒ 「早送り/早戻しする」(p.21)

4 TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶ ボタン

トラックを頭出しします。

⇒ 「頭出しする(トラックサーチ)」(p.21)

5 REV インジケータ

逆再生しているときに点灯します。

⇒ 「逆再生する」(p.21)

6 DIRECTION FWD/REV/SLIP REV レバー

逆再生をオン/オフします。

⇒ 「逆再生する」(p.21)

スリップリバーをオン/オフします。

⇒ 「スリップを使う」(p.27)

7 SLIP ボタン

⇒ 「スリップを使う」(p.27)

8 4/8BEAT (LOOP CUTTER) ボタン

⇒ 「自動的にループを設定する(4ビートループ)」(p.24)

9 IN/CUE (IN ADJUST) ボタン

ループインポイントを設定および微調整します。

⇒ 「ループを設定する」(p.23)

10 LOOP OUT (OUT ADJUST) ボタン

ループアウトポイントを設定および微調整します。

⇒ 「ループを設定する」(p.23)

11 RELOOP/EXIT ボタン

ループ再生に戻る(リループ)、またはループ再生を解除します(ループイグジット)。

⇒ 「ループ再生に戻る(リループ)」(p.23)

12 HOT CUE (A ~ H, CALL/DELETE) ボタン

ホットキューの設定、削除、再生、呼び出しをおこないます。
☞ 「ホットキューを設定する」(p.24)

13 HOT CUE BANK ボタン

HOT CUE(A, B, C, D) と HOT CUE(E, F, G, H) を切り替えます。

14 SD メモリーカードインジケータ

SD メモリーカードと通信しているときに点滅します。
SD メモリーカードインジケータは、SD メモリーカードに設定されている色に変わります。
☞ 「記録メディア (SD, USB) に設定されている色を変更する」(p.34)

15 SD メモリーカードドア

SD メモリーカードをセットまたは取り出すときに、このドアを開け / 閉めます。
☞ 「SD メモリーカードの入れかたと出しかた」(p.19)

16 SD メモリーカード挿入口

SD メモリーカードをセットします。
☞ 「SD メモリーカードの入れかたと出しかた」(p.19)

17 USB STOP ボタン

USB デバイスを取り外す前に 2 秒以上押します。
☞ 「USB デバイスの付けかたと外しかた」(p.20)

18 USB インジケータ

USB デバイスと通信しているときに点滅します。
USB インジケータの色は、USB デバイスに設定されている色に変わります。
☞ 「記録メディア (SD, USB) に設定されている色を変更する」(p.34)

19 USB デバイス挿入口

USB デバイスをセットします。
☞ 「USB デバイスの付けかたと外しかた」(p.20)

20 TIME MODE/AUTO CUE ボタン

1 回押すと本体表示部の時間表示方法 (残り時間表示または経過時間表示) を切り換えます。
1 秒以上押すとオートキューをオン / オフします。
☞ 「オートキューを設定する」(p.23)

21 QUANTIZE ボタン

クオンタイズ機能を使うときに押します。
クオンタイズ機能をオンに設定すると、ループインポイント、ループアウトポイント、ホットキュー、キューを設定するときに最も近い拍位置にポイントを自動で合わせます。
また、ホットキュー、ループ、リバース、スリッパなどがビートを崩さずに使えます。

- クオンタイズ機能をオンに設定すると、本体表示部に [QUANTIZE]、QUANTIZE の拍サイズが表示されます。
☞ 「本体表示部」(p.17)
- 以下の状態ではクオンタイズ機能は動きません (灰色で表示されます)。
 - ディスクに記録されているトラックを再生しているとき
 - rekordbox で解析されていない音楽ファイルを再生しているとき

22 DISC ボタン

CD、CD-ROM、または DVD-ROM 内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.20)

23 SD ボタン

SD メモリーカード内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.20)

24 USB ボタン

USB デバイス内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.20)

25 LINK ボタン

他の DJ プレーヤーにセットされている記録メディア (SD, USB) 内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」(p.20)
DJ ソフトウェアでパフォーマンスを行うときに押します。
☞ 「DJ ソフトウェアを使う」(p.12)

26 rekordbox ボタン

rekordbox 内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.21)

27 本体表示部

[BROWSE/SEARCH] ボタン、[TAG LIST] ボタン、[INFO/LINK INFO] ボタンをすべてオフにする通常再生画面に切り換わります。
☞ 「本体表示部」(p.17)

28 BROWSE/SEARCH ボタン

[BROWSE] 画面を表示するときに押します。
☞ 「プラス画面に切り換える」(p.29)
[BROWSE/SEARCH] を 1 秒以上押すと、[SEARCH] 画面が起動します。
☞ 「トラックを探す」(p.30)

29 TAG LIST ボタン

[TAG LIST] 画面を表示するときに押します。
☞ 「タグリストを編集する」(p.31)

30 INFO/LINK INFO ボタン

[INFO] 画面を表示するときに押します。
☞ 「ロードされているトラックの詳細情報を表示する」(p.33)

31 MENU/UTILITY ボタン

1 回押すとメニュー画面を表示します。
1 秒以上押すと [UTILITY] 画面を表示します。
☞ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.34)

32 BACK ボタン

1 回押すと 1 つ前の画面に戻ります。
1 秒以上押すと一番上の階層に移動します。
☞ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.20)

33 TAG TRACK/REMOVE ボタン

タグリストにトラックを追加 / 削除します。
☞ 「タグリストを編集する」(p.31)

34 ロータリーセレクター

トラックや設定項目を選ぶとき、ロータリーセレクターを回すとカーソルが移動します。決定するときはロータリーセレクターを押します。

35 STANDBY インジケータ

スタンバイ状態のときに点灯します。
☞ 「オートスタンバイを設定する」(p.35)

36 DISC EJECT▲ ボタン

ディスクを取り出します。
☞ 「ディスクの出しかた」(p.19)

37 SHORTCUT ボタン

TRACK, PLAYLIST, SERACH カテゴリ画面の起動、PLAYER の設定変更等ができます。

38 TRACK FILTER/EDIT ボタン

rekordbox で楽曲に付加したタグ情報や BPM, KEY などの情報を基にした絞り込み検索ができます。
☞ 「その他のブラウズ操作」(p.30)

39 VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKE ツマミ

ジョグダイヤルの天面を押して、再生が停止するまでの速度を調整します。
☞ 「再生が停止するまでの速度を調整する」(p.22)

40 VINYL SPEED ADJUST RELEASE/START ツマミ

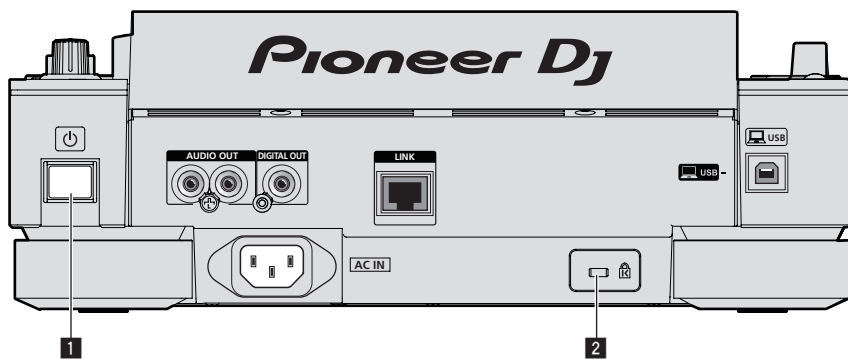
ジョグダイヤルの天面から手を放して、通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
☞ 「通常の再生に戻るまでの速度を調整する」(p.22)

41 CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X), ▶(LOOP 2X) ボタン

保存されているキューまたはループを呼び出します。
☞ 「保存されているキューポイントまたはループポイントを呼び出す」(p.26)
ループ再生中に押すとループを分割または延長します。
☞ 「ループを分割する (ループカッター)」(p.24)
☞ 「ループを延長する (ループダブル)」(p.24)

- 42 DELETE ボタン**
キューポイントまたはループポイントを消去します。
☞ 「ポイントを個別に消去する」(p.26)
- 43 MEMORY ボタン**
キューポイントまたはループポイントを保存します。
☞ 「キューポイントまたはループポイントを保存する」(p.26)
- 44 JOG MODE ボタン、VINYL モードインジケータ、CDJ
モードインジケータ**
押すたびに VINYL モードと CDJ モードを切り換えます。選んでいるモードのインジケータが点灯します。
☞ 「ジョグダイヤルのモードを切り換える」(p.22)
- 45 JOG ADJUST ツマミ**
ジョグダイヤルを回すときの負荷を調整します。
☞ 「ジョグダイヤルを回すときの負荷を調整する」(p.22)
- 46 BEAT SYNC MASTER ボタン**
本機にロードされたトラックをビートシンク機能でのマスターにします。
☞ 「ビートシンクを使う」(p.28)
- 47 BEAT SYNC/INST.DOUBLE ボタン**
ビートシンク機能をオンします。
☞ 「ビートシンクを使う」(p.28)
- 48 TEMPO $\pm 6/\pm 10/\pm 16$ /WIDE ボタン**
再生速度の調整範囲を切り換えます。
☞ 「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(p.21)
- 49 MASTER TEMPO ボタン**
マスターテンポをオン / オフします。
☞ 「音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)」(p.21)
- 50 TEMPO スライダー**
トラックの再生速度を調整します。
☞ 「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(p.21)
- 51 TEMPO RESET ボタン、TEMPO RESET インジケータ**
TEMPO スライダーの位置に関係なく、ディスクなどに記録されている元々の再生速度でトラックを再生します。**TEMPO RESET** をオンにするとインジケータが点灯します。
- 52 ジョグダイヤル (-REV/+FWD)、JOG RING
ILLUMINATION**
スクラッチやピッチベンドなどの操作ができます。
☞ 「ジョグダイヤルを操作する」(p.22)
- 53 ジョグダイヤル表示部**
☞ 「ジョグダイヤル表示部」(p.18)

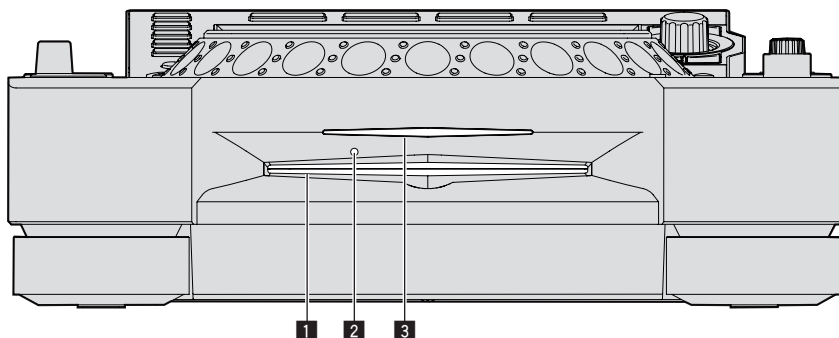
本体背面部



接続に使う端子については、9ページの「各端子の説明」をご覧ください。

- 1 のスイッチ
電源をオンまたはオフします。
- 2 ケンジントンロック装着用穴

本体前面部



- 1 ディスク挿入口
- 2 ディスク強制取り出しピン挿入穴
- 3 ディスク挿入口インジケーター

ディスクの強制取り出しについて

- [DISC EJECT▲] ボタンを押してもディスクを取り出せないときは、本体前面のディスク強制取り出しピン挿入穴にディスク強制取り出しピンを押し込むことにより、ディスクを強制的に取り出せます。
- ディスクを強制的に取り出すときは、下記の事項を厳守してください。

1 [の] スイッチを押して本機の電源をオフにし、1分以上待つ

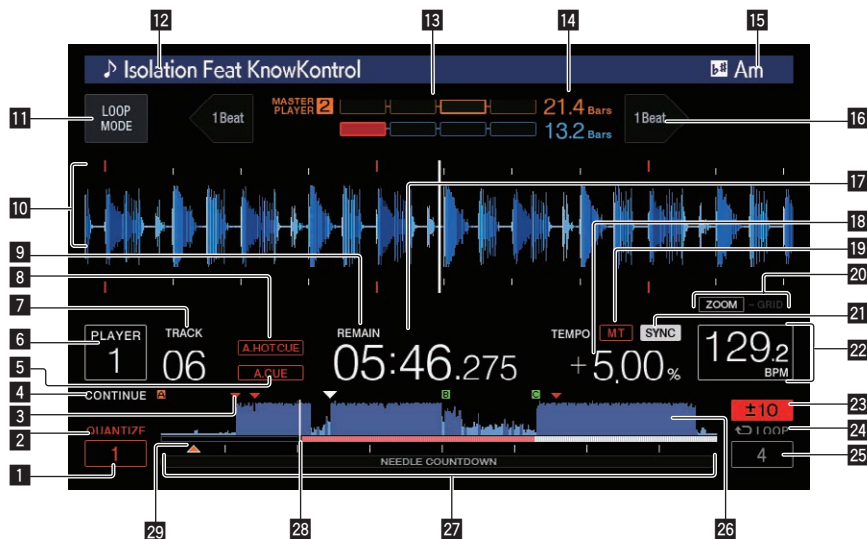
電源を切つてすぐに強制取り出しを行うと、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。
ディスクが回転したまま本体から排出されるため、指などに当たりケガをする危険があります。
ディスクのクランプが不安定な状態で回転するためディスクに傷がつきます。

2 付属のディスク強制取り出しピンを使う（他のものは使わないでください）

付属のディスク強制取り出しピンは本機底面にはめ込んであります。ピンを挿入穴に根元まで押し込むと、ディスクがディスク挿入口から5 mm ~ 10 mm ほど排出されますので、指でつまんで引き抜いてください。

本体表示部

通常再生画面 (表示部 / タッチキー)



1 QUANTIZE BEAT VALUE

QUANTIZE の拍サイズを表示します。

2 QUANTIZE

[QUANTIZE] をオンに設定しているときに表示されます。

3 キュー/ループ/ホットキューポイントメモリー表示

記録メディア (SD, USB) に記録されているキューポイント、ループポイント、およびホットキューポイントをマークで表示します。

4 SINGLE/CONTINUE

本機にロードされているトラックの再生方法を変更します。

5 A. CUE

オートキューを設定しているとき点灯します。

⇒ 「オートキューを設定する」(p.23)

6 PLAYER

本機に割り当てられたプレーヤー番号 (1 ~ 4) を表示します。

7 TRACK

トラック番号 (01 ~ 999) を表示します。

8 HOT CUE AUTO LOAD

HOT CUE AUTO LOAD をオンに設定しているときに表示されます。

⇒ 「ホットキューを呼び出す」(p.25)

9 REMAIN

時間表示を残り時間表示に設定しているとき点灯します。

10 情報表示部

- rekordbox で解析した拡大波形などを表示します。rekordbox または、本機の [MENU] および、[SHORTCUT] 画面で拡大波形の色を変更することができます。
- ⇒ 「記録メディア (SD, USB) に設定されている色を変更する」(p.34)
- 再生中に波形表示部をタッチするとタッチした位置の拡大波形が表示されます。

11 LOOP MODE

⇒ 「曲のテンポをもとに自動的にループを設定する (オートビートループ)」(p.24)

12 トラック名

rekordbox および、本機で背景色が設定できます。

⇒ 「記録メディア (SD, USB) に設定されている色を変更する」(p.34)

13 PHASE METER

ビートシンク機能でマスタープレーヤーとの小節や拍のズレを表示します。

タッチすると [PHASE METER] の表示を切り換えることができます。また [SHORTCUT] 画面でも切り換えることができます。

14 BEAT COUNTDOWN

- 現在再生位置から一番近い、保存されたキューポイントまでの小節数、拍数を表示します。
- 再生中に波形表示部をタッチすると現在再生位置からタッチした位置までの小節数、拍数を表示します。その際、目盛表示は、16 小節間隔で表示されます。

15 KEY

楽曲の KEY (調) を表します。

16 BEAT JUMP

再生位置を前後 1 拍分移動させます。

⇒ 「ビートジャンプ、ループムーブを使う」(p.27)

17 時間表示 (分、秒、msec)

残り時間または経過時間を表示します。

18 再生速度表示

[TEMPO] スライダーの位置に従って、数値が変化します。

19 MT

マスターテンポを設定しているとき点灯します。

⇒ 「音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)」(p.21)

20 ZOOM モード、GRID ADJUST モード表示

ロータリーセレクターを 1 秒以上押しすると、[ZOOM] モードと [GRID ADJUST] モードが切り換わります。

- [ZOOM] モード：ロータリーセレクターを回すと波形を拡大/縮小できます。
 - [GRID ADJUST] モード：ロータリーセレクターを回すとビートグリッドを調整できます。
- [MENU/UTILITY] ボタンを使ってビートグリッドを調整できます。
- ⇒ 「拍位置を調整する (アジャストビートグリッド)」(p.28)

21 SYNC

[SYNC] をオンに設定しているときに表示されます。

22 BPM

再生しているトラックのBPM (=Beats Per Minute. 1 分間の拍数) を表示します。

- 本機で測定した BPM 値が CD の記載値、または当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。これは BPM の測定方法などが違うためであり故障ではありません。

23 再生速度可変範囲表示

メディアに記録されている元々の再生速度に対して、再生速度を調整できる範囲を表示します。

24 ループ表示

ループ中に点灯します。

- ☉ 「ループを設定する」(p.23)

25 LOOP 拍表示

ループに設定されているループの拍数を表示します。

26 波形表示

音声を波形で表示します。

rekordbox または、本機の [MENU] および、[SHORTCUT] 画面で全体波形の色を変更することができます。

- ☉ 「記録メディア (SD, USB) に設定されている色を変更する」(p.34)

27 プレーイングアドレス表示 / 目盛表示 (1 分間隔 / 16 小節間隔)

トラック (1 曲) を棒グラフで表示します。現在の再生位置を白色の縦線で表示します。経過時間を表示するときはグラフの左端から点灯します。残り時間を表示するときは左端から消灯します。トラックの残り時間が 30 秒以下になるとグラフ全体がゆっくり点滅し、15 秒以下になると早く点滅します。

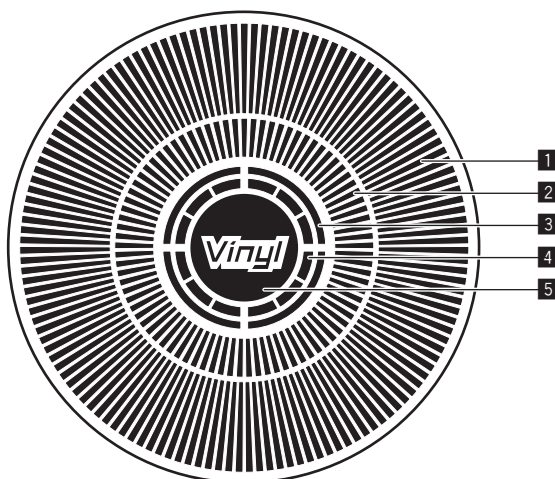
28 キャッシュメーター

現在再生中の曲が、曲のどの部分までメモリー上にキャッシュされているかを表示します。

29 キュー / ループ / ホットキューポイント表示

設定しているキューポイント、ループポイント、およびホットキューポイントの位置をマークで表示します。

ジョグダイヤル表示部



1 動作表示

1 周 135 フレームとして再生位置を表示します。再生中は回転し一時停止中は停止します。

2 キューポイント表示 / スリップ再生表示

3 音声メモリー状態表示

音声メモリー書き込み中に点滅します。書き込みが完了すると点灯します。

音声メモリーを書き込み中は、リアルタイムキューの操作ができないことがあります。

スクラッチプレイによってメモリーが不足したときも点滅します。

4 ジョグタッチ検出表示

ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、ジョグダイヤル天面を押すと点灯します。

5 VINYL

ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき点灯します。

- ☉ 「ジョグダイヤルを操作する」(p.22)

操作する (基本編)

電源の入れかた

- 1 各接続を行い、コンセントに電源コードを挿す
⇒「接続する」(p.9)
- 2 [⏻] スイッチを押す
本機のインジケータ類が点灯し、電源がオンになります。

電源の切りかた

- [⏻] スイッチを押す
本機の電源がオフになります。
- SD メモリーカードインジケータ点滅中に SD メモリーカードを引き抜いたり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、SD メモリーカードが読み込めなくなることがあります。
 - USB インジケータが点滅中に USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。

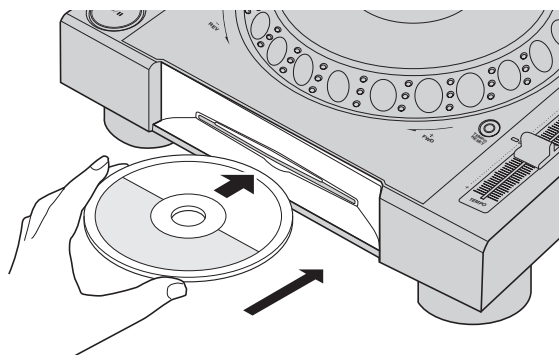
ディスクの入れかたと出しかた

- 本機は 1 枚型のプレーヤーです。複数のディスクは挿入できません。
- 本機の電源がオフのとき、本機のディスク挿入口に無理にディスクを入れないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。
- 本機がディスクを引き込もうとしているとき、または排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

ディスクの入れかた

- 1 [⏻] スイッチを押して、本機の電源を入れる
- 2 印刷面を上にして、ディスクを水平にディスク挿入口に入れる

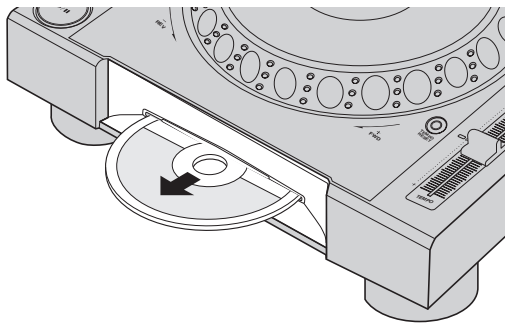
- メディアの読み込みが終了すると、再生を開始します。
- 音楽ファイルが階層構造で記録されているディスクをセットしたときは、一番上の階層に入っているトラックから再生します。



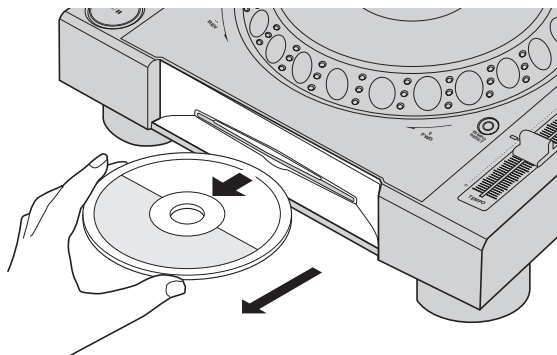
- オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。
⇒ オートキューについては、23 ページの「オートキューを設定する」をご覧ください。
- 以前に本機または Pioneer DJ 製 DJ プレーヤーにセットした記録メディア (SD, USB) がセットされているときは、ディスクを挿入すると、ディスク情報を記録しているディスク枚数が本体表示部に数秒間表示されます。
⇒ ディスク情報の記憶については、25 ページの「呼び出し手順 (ディスク)」をご覧ください。

ディスクの出しかた

- 1 [DISC EJECT▲] ボタンを押してディスクを取り出す
ディスク挿入口からディスクが排出されます。



- 2 ディスクの信号面に傷をつけないように引き抜く



- 誤って [DISC EJECT▲] ボタンが押された場合は、すぐに [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと、排出を中止して直前の状態に復帰します (復帰処理中は、音声が出力されません)。
- [UTILITY] メニューの [EJECT/LOAD LOCK] が [LOCK] に設定されているときは、再生中にディスクを取り出すことができません。[EJECT/LOAD LOCK] を [UNLOCK] に設定するか、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押して一時停止してから [DISC EJECT▲] ボタンを押してください。

❖ レジューム機能について

再生しながらディスクを抜いた場合は、また同じディスクを挿入すると抜いた時点の再生位置から再生を始めます。一時停止中にディスクを抜いた場合は、また同じディスクを挿入すると抜いた時点の再生位置で一時停止します。これらは本機の電源が OFF されるか、違うディスクがセットされるまで記憶されます。

- 記録メディア (SD, USB) ではこの機能は使えません。

SD メモリーカードの入れかたと出しかた

- SD メモリーカード挿入口には、SD メモリーカード以外の物を挿入しないでください。コインなど金属物を挿入すると、内部回路が破損し故障の原因になります。
- SD メモリーカードを無理やり出し入れしないでください。SD メモリーカードの破損および本機の故障の原因になります。

SD メモリーカードの入れかた

1 [⏻] スイッチを押して、本機の電源を入れる

2 SD メモリーカードドアを開ける

3 SD メモリーカードを差し込む

SD メモリーカードは裏面を手前に、切り欠きを下にして、垂直にゆっくりと、止まるまで差し込みます。

4 SD メモリーカードドアを閉める

SD メモリーカードの出しかた

1 SD メモリーカードドアを開ける

SD メモリーカードインジケーターが数秒間点滅します。

- SD メモリーカードインジケーター点滅中に SD メモリーカードを引き抜いたり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、SD メモリーカードが読み込めなくなることがあります。

2 SD メモリーカードを一度押し込んで戻ってきたあと、垂直に引き抜く

3 SD メモリーカードドアを閉める

USB デバイスの付けかたと外しかた

USB デバイスの接続のしかた

1 [⏻] スイッチを押して、本機の電源を入れる

2 USB デバイス挿入口のカバーを開け、USB デバイスを接続する

USB デバイスの外しかた

1 USB インジケーターの点滅が終了するまで [USB STOP] ボタンを押す

USB インジケーターが点滅中に USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。

2 USB デバイスを引き抜く

3 USB デバイス挿入口のカバーを閉じる

再生する

ここでは、基本的な選曲操作と画面の切り換え方を説明します。

- 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」(p.20)
- 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.21)

本機にセットされたメディアを再生する

1 メディアを本機にセットする

- 「ディスクの入れかた」(p.19)
- 「SD メモリーカードの入れかた」(p.20)
- 「USB デバイスの接続のしかた」(p.20)

2 メディアボタン ([DISC]、[SD]、[USB] のいずれか) を押す

トラックやフォルダーがリストになって表示されます。

本体表示部に表示するメディアの中身を切り換えることができます。

[DISC] ボタン：挿入されているディスクの中身を表示します。

[SD] ボタン：挿入されている SD メモリーカードの中身を表示します。

[USB]：接続されている USB デバイス、rekordbox をインストールしたモバイルデバイス内の音楽ファイルを表示します。

- [LINK] ボタンについて、詳しくは 20 ページの「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」を参照してください。

- [rekordbox] ボタンについて、詳しくは 21 ページの「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」を参照してください。

3 ロータリーセクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。



- フォルダーの下位階層に進むときはロータリーセクターを押します。上位階層に戻るときは [BACK] ボタンを押します。
- [BACK] ボタンを 1 秒以上押す、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。
- [TRACK SEARCH ◀▶] ボタンを使っても、再生しているトラックが含まれているカテゴリ / フォルダー内のトラックを選べます。

4 トラックを選んでロータリーセクターを押す

トラックをロードすると、画面は通常再生画面に切り換わります。トラックがロードされて再生が始まり、対応したメディアボタンが点滅します。

- 通常再生画面については、17 ページの「本体表示部」をご覧ください。

- [UTILITY] メニューの [EJECT/LOAD LOCK] が [LOCK] に設定されているときは、再生中に新たなトラックのロードはできません。[EJECT/LOAD LOCK] を [UNLOCK] に設定するか、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。
- 一時停止してからトラックをロードした場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。
- オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。
- オートキューについては、23 ページの「オートキューを設定する」をご覧ください。

他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する

PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに挿入されている記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスの中身を本機の画面に表示します。

- 他のプレーヤーに挿入されているディスクの情報はブラウズできません。

1 記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを PRO DJ LINK 接続中の他プレーヤーにセットする

2 [LINK] ボタンを押す

他プレーヤーに挿入されている記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスのトラックやフォルダが表示されます。

- 複数のメディアが接続されている場合は、メディアの選択画面が表示されます。

3 ローターセレクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。



4 トラックを選んでロータリーセレクターを押す

トラックをロードすると、画面は通常再生画面に切り換わります。トラックがロードされて再生が始まり、対応したメディアボタンが点滅します。

- 通常再生画面については、17ページの「本体表示部」をご覧ください。

❖ rekordbox のライブラリが書き込まれていた場合

本機または PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに挿入されている SD メモリーカードおよび USB デバイス内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリを表示します。

- 音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリー（アルバム、アーティストなど）で表示します。
- カテゴリーメニューの項目の種類は、rekordbox のプリファレンス（環境設定）で変更できます。

コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する

音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリー（アルバム、アーティストなど）で表示します。

1 [rekordbox] ボタンを押す

rekordbox のライブラリが本機の本体表示部に表示されます。

- 無線 LAN (Wi-Fi) 接続の場合、接続時に本機の本体表示部に [接続を許可する場合は、ロータリーセレクターを押してください。] が表示されたら、ロータリーセレクターを押すと接続できます。
- USB 接続したモバイルデバイスを選ぶときは [USB] ボタンを押してください。また PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに接続したモバイルデバイスを選ぶときは [LINK] ボタンを押してください。

2 ローターセレクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

3 トラックを選んでロータリーセレクターを押す

トラックをロードすると、画面は通常再生画面に切り換わります。トラックがロードされて再生が始まり、対応したメディアボタンが点滅します。

- 通常再生画面については、17ページの「本体表示部」をご覧ください。

ロード・プリビュース・トラック

過去再生された最新 8 曲の曲名を表示して選曲できます。

1 通常再生画面を表示する

2 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

3 ローターセレクターを回して曲を選び、ロータリーセレクターを押して再生を決定する

- [MENU/UTILITY]、[BACK] ボタンで曲名表示が消えます。

一時停止する

再生中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す

[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンと [CUE] ボタンが点滅します。もう一度 [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生を再開します。

- ディスクからトラックをロード中の場合、一時停止したまま 100 分以上操作しないと、自動的にディスクの回転を停止します。

早送り / 早戻しする

[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押し続けている間、早送り / 早戻しします。

- カテゴリー / フォルダーを飛び越えての早送り / 早戻しはできません。

頭出しする (トラックサーチ)

[TRACK SEARCH I◀◀, ▶▶] ボタンを押す

[▶▶] を押すと次のトラックの先頭に進みます。

[I◀◀] を押すと再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回連続で押すと 1 つ前のトラックの先頭に戻ります。

- カテゴリー / フォルダーを飛び越えての頭出しはできません。

再生速度を調整する (テンポコントロール)

[TEMPO ±6/±10/±16/WIDE] ボタンを押す

押すたびに [TEMPO] スライダーの可変範囲が切り換わります。可変範囲の設定値が本体表示部に表示されます。

設定値	調整単位
±6	0.02 %
±10	0.05 %
±16	0.05 %
WIDE	0.5 %

[WIDE] の調整範囲は ± 100 % です。- 100 % に設定すると再生が停止します。

- 電源をオンしたときは ± 10 % に設定されます。

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

[+] (手前) 側に動かすと再生速度が速くなり、[-] (奥) 側に動かすと再生速度が遅くなります。再生速度を変化させている割合が再生速度表示に表示されます。

音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)

[MASTER TEMPO] ボタンを押す

[MASTER TEMPO] ボタンと本体表示部の [MT] が点灯します。

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

[TEMPO] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。
- 電源をオフにしてもマスターテンポの設定は記憶されます。

逆再生する

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

[DIRECTION FWD/REV/SLIP REV] レバーを [REV] 側に倒す

- [REV] インジケーターが点灯し、逆方向に再生します。
- 音楽ファイルがフォルダー構造で記録されているときは、同じカテゴリー / フォルダーに入っているトラックだけ逆再生できます。また、逆再生がすぐに始まらないことがあります。
- ジョグダイヤルの回転方向に応じた演奏の加・減速が逆向きになります。
- 逆再生中に、頭出し (トラックサーチ) やループ再生などの操作をすると、ジョグダイヤル表示部の音声メモリー状態表示が点滅してスクラッチプレイができないことがあります。

ジョグダイヤルを操作する

- ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
- 飲料水などの液体が製品内部に入ると故障の原因になります。

ジョグダイヤルのモードを切り換える

[JOG MODE] ボタンを押す

ボタンを押すたびに VINYL モードと CDJ モードが切り換わります。

- VINYL モード：再生中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回すと回転に応じた音声が出ます。
- CDJ モード：ジョグダイヤルの天面を押しても再生は停止しません。またスクラッチなどの操作ができません。

ピッチベンド

再生中にジョグダイヤルの天面を触らずに外周部分を回す時計回りに回すと再生速度が加速します。反時計回りに回すと再生速度が減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。

- ジョグモードを CDJ モードに設定しているときは、ジョグダイヤルの天面を回しても同じ操作ができます。

ジョグダイヤルを回すときの負荷を調整する

[JOG ADJUST] ツマミを回す

右に回すほど負荷が重くなり、左に回すほど負荷が軽くなります。

スクラッチ

ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、ジョグダイヤルの天面を押しながら回すことによってジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じた再生ができます。

1 [JOG MODE] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 再生中にジョグダイヤルの天面を押す

再生が減速してから停止します。

3 ジョグダイヤルを再生したい方向と速度で回す

ジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じて音声が再生されます。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

通常の再生に戻ります。

フレームサーチ

一時停止中にジョグダイヤルを回す

0.5 フレーム単位で一時停止位置を移動できます。

- 0.5 フレームは約 6.7 msec です。
- 時計回りで再生方向、反時計回りで逆方向に移動します。ジョグダイヤルを 1 回転すると 1.8 秒移動します。

スーパー・ファースト・サーチ

[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速で早送り / 早戻しします。

- [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンから指を放すと、この機能は解除されます。
- ジョグダイヤルの回転を止めると、通常の再生を再開します。
- ジョグダイヤルの回転速度に応じて早送り / 早戻し速度を調節できます。

スーパー・ファースト・トラックサーチ

[TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速でトラックを送ります。

再生と停止の速度を調整する

この機能はジョグモードが VINYL モードに設定されているときに有効になります。

再生が停止するまでの速度を調整する

ジョグダイヤルの天面を押して再生が停止する速度、[PLAY/PAUSE▶/■] ボタンを押して再生が停止する速度を変更できます。

[VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKE] ツマミを回す

右に回すほど速度が遅くなり、左に回すほど速度が速くなります。

通常の再生に戻るまでの速度を調整する

ジョグダイヤルの天面から手を放して通常の再生に戻るまでの速度と、一時停止中に [PLAY/PAUSE▶/■] ボタンを押して通常の再生に戻るまでの速度を変更できます。

- スリップスクラッチブレイを解除してバックグラウンドに戻るときは、この機能は無効になります。

[VINYL SPEED ADJUST RELEASE/START] ツマミを回す

右に回すほど速度が遅くなり、左に回すほど速度が速くなります。

操作する (応用編)

キューを設定する

1 再生中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す
再生を一時停止します。

2 [CUE] ボタンを押す
一時停止していた位置が、キューポイントに設定されます。
[PLAY/PAUSE▶/II] インジケータが点滅し、[CUE] インジケータが点灯します。このとき音声は出力されません。
• 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

キューポイントの位置を修正する

1 キューポイントで一時停止中に [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す
[PLAY/PAUSE▶/II] インジケータと [CUE] インジケータが点滅します。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す
0.5 フレーム単位でキューポイントを微調整できます。
• ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。

3 [CUE] ボタンを押す
ボタンを押した位置が新しいキューポイントに設定されます。
• 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

キューポイントに戻る (バックキュー)

再生中に [CUE] ボタンを押す
設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。
• [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと、キューポイントから再生が始まります。

キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)

キューポイントに戻ったあとに [CUE] ボタンを押し続ける
設定されているキューポイントから再生が始まります。[CUE] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。
• キューサンプラー中に [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと、[CUE] ボタンから指を放してもそのまま続けて再生します。

再生しながらキューポイントを設定する (リアルタイムキュー)

再生中にキューポイントに設定したい位置で [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す
ボタンを押した位置がキューポイントに設定されます。

オートキューを設定する

トラックをロードしたとき、または頭出し (トラックサーチ) したとき、トラック先頭の無音部分を飛ばして音声が始まる直前に自動でキューポイントを設定します。

[TIME MODE/AUTO CUE] ボタンを 1 秒以上押す
[A. CUE] が点灯します。
• [TIME MODE (AUTO CUE)] をふたたび 1 秒以上押すと、オートキューがオフに設定されます。
• 電源をオフにしてもオートキューの設定は記憶されます。

ループを設定する

指定した区間を繰り返し再生できます。
• 音楽 CD (CD-DA) に収録されているトラックのみ、トラックをまたいだループ再生区間を設定することができます。
• クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

1 再生中にループ再生を始めたい位置 (ループインポイント) で [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す
ループインポイントが設定されます。
• あらかじめ設定されているキューポイントをループインポイントにするときは、この操作は必要ありません。

2 ループ再生を終わりたい位置 (ループアウトポイント) で [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す
ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループインポイントを微調整する (ループインアジャスト)

1 ループ再生中に [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す
[IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンが速い点滅に変わり、[LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンが消灯します。
本体表示部にループインポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す
0.5 フレーム単位でループインポイントを微調整できます。
• ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。
• ループインポイントの調整可能範囲は ± 30 フレームです。
• ループインポイントはループアウトポイントより後ろに設定することはできません。

3 [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す
ループ再生に戻ります。
• 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。

ループアウトポイントを微調整する (ループアウトアジャスト)

1 ループ再生中に [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す
[LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンが速い点滅に変わり、[IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンが消灯します。
本体表示部にループアウトポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す
0.5 フレーム単位でループアウトポイントを調整できます。
• ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。
• ループアウトポイントはループインポイントより手前に設定することはできません。

3 [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す
ループ再生に戻ります。
• 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。

ループ再生を解除する (ループイグジット)

ループ再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す
ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

ループ再生に戻る (リループ)

ループ再生を解除したあと、再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す
前回設定したループインポイントに戻りループ再生を再開します。

自動的にループを設定する (4 ビートループ)

再生中に [4/8BEAT (LOOP CUTTER)] ボタンを押す

再生しているトラックの BPM に合わせて、押した位置から 4 拍のループが自動的に設定され、ループ再生を始めます。

- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。
- [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを 1 秒以上押した場合も 4 ビートループを設定することができます。

❖ 8 ビートループ

再生中に [4/8BEAT (LOOP CUTTER)] ボタンを 1 秒以上押す

押した位置から 8 拍のループが自動で設定され、ループ再生を始めます。

ループを分割する (ループカッター)

ループ再生中に [CUE/LOOP CALL◀(LOOP 1/2X)] ボタンを押す

ボタンを押すたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

- ループ再生中に [4/8BEAT (LOOP CUTTER)] ボタンを押した場合もループを分割することができます。

ループを延長する (ループダブル)

ループ再生中に [CUE/LOOP CALL▶(LOOP 2X)] ボタンを押す

ボタンを押すたびにループ再生の長さが倍に延長されます。

曲のテンポをもとに自動的にループを設定する (オートビートループ)

指定した拍数でループが設定されて、ループ再生が始まります。

1 再生中に [LOOP MODE] をタッチする

本体表示部に拍数選択画面が表示されます。

- 拍数選択画面は、ループを設定した時やスリップ機能をオンにした時にも表示されます。



2 設定したい拍数をタッチする

タッチした拍数が点灯し、選択した拍数でループ再生が始まります。

3 [LOOP MODE] をタッチする

拍数選択画面が解除されます。

- 拍数選択画面は、トラックをロードしたときにも解除されます。
- 楽曲解析を済ませていないトラックを再生しているときは、再生しているトラックの BPM に合わせてループが設定されます。
- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。

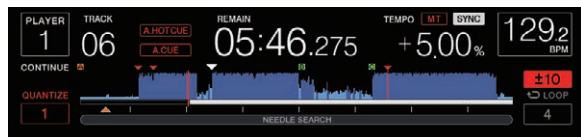
アクティブループを使う

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 rekordbox でアクティブループを設定したトラックをロードする

rekordbox で保存されたループの 1 つをアクティブループとして設定できます。

設定したアクティブループポイントは波形表示に以下のように表示されます。



再生位置が設定ポイントを通過すると自動でループが設定され、ループ再生を始めます。

エマージェンシーループ

本機は曲が再生し続けられなくなった場合、音切れを防ぐために自動で 4 ビートループを設定します。

- エマージェンシーループ中は DJ プレイが制限されます。エマージェンシーループを解除するには、次の曲をロードしてください。

ホットキューを設定する

ホットキューを設定しておく、ポイント呼び出して瞬時にそのポイントから再生が始められます。設定できるホットキューは、1 つの音楽トラックにつき最大 8 個です。

- [BANK] ボタンを押すことにより [HOT CUE](A, B, C, D) と [HOT CUE](E, F, G, H) を切り換えることができます。
- ディスクのホットキューの場合は、1 ディスクにつき最大 4 個までです。[HOT CUE](E, F, G, H) は使用できません。
- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 再生中または一時停止中にホットキューに設定したい位置で [HOT CUE] (A ~ H) のいずれかを押す

ボタンを押した位置がホットキューに設定され、設定した [HOT CUE] ボタンが点灯します。

- ループ再生中の場合は、ループがホットキューとして登録されます。ホットキューには再生方向は記録されません。記録中は、他のホットキューへの記録、キューポイントの設定、早送り / 早戻し、およびスクラッチプレイはできません。
- 記録メディア (SD, USB) が本機にセットされているときは、ポイント情報が自動的に記録されます。
- スクラッチプレイ中にホットキューを設定すると、再生が一旦停止することがあります。
- ホットキューが既に記録されている [HOT CUE] (A ~ H) ボタンには、ホットキューを記録することはできません。新たに記録したいときは、記録されているホットキューを削除してください。
- ディスクのホットキューの場合、記録メディア (SD, USB) にポイント情報が記録されるのは [HOT CUE](A, B, C) に設定したホットキューのみです。

ホットキューを再生する

再生中または一時停止中に [HOT CUE] (A ~ H) のいずれかを押す

そのボタンに記録されているホットキューを呼び出して再生を始めてみます。

- [HOT CUE] ボタンに記録されたループ再生は、[IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンと [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを使って設定したループ再生とは別の情報です。
- [HOT CUE] ボタンに記録されたループを呼び出したあと、[RELOOP/EXIT] ボタンを使ってループ再生を解除したり、[LOOP IN (IN ADJUST)] ボタンを使ってループインポイントや [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを使ってループアウトポイントを微調整できます。調整は [HOT CUE] (A ~ H) ボタンに記録されている情報を直接変更します。

❖ [HOT CUE] (A ~ H) ボタンの点灯色について

[UTILITY] メニューの [HOT CUE COLOR] が [OFF] に設定されているとき

ホットキューに記憶されている内容	ボタンの点灯色
キューポイント	緑
ループ	オレンジ
何も記憶されていない。	無点灯

[UTILITY] メニューの [HOT CUE COLOR] が [ON] に設定されているとき

ホットキューに記憶されている内容	ボタンの点灯色
キューポイント	ボタン固定色
ループ	オレンジ
何も記憶されていない。	無点灯

- ディスク内のトラックを再生しているとき、ホットキューバンクに登録されているホットキューの場合は設定にかかわらず [OFF] で動作します。
- rekordbox によってホットキューの色を設定することもできます。

ホットキューを呼び出す

❖ 呼び出し手順 (ディスク)

記録メディア (SD, USB) を使ったホットキューの呼び出し操作は、あらかじめディスクのホットキューを記録メディア (SD, USB) を使用して記憶させておく必要があります。

1 ディスクのホットキューが記憶された記録メディア (SD, USB) をセットする

2 ディスクを本機にセットする

ホットキューの呼び出しモードに切り換わり、ホットキューが記録されている [HOT CUE] ((A, B, C)) ボタンが点滅します。

3 ホットキューを呼び出したい [HOT CUE] ((A, B, C)) ボタンを押す

ホットキューが呼び出され、[HOT CUE] ((A, B, C)) ボタンが緑色またはオレンジ色に点灯します。

- ホットキューを呼び出さなかつたときは、[HOT CUE] ((A, B, C)) ボタンを押さないまま [HOT CUE] (CALL/DELETE) ボタンを押します。ホットキューが呼び出されなかつたボタンは消灯します。
- ディスク以外のメディアに記録されているトラックを再生しているときは、ホットキューが記録されているディスクを本機にセットしてもホットキューは呼び出されません。
- ホットキューの呼び出しモードを誤って解除してしまったときは、一旦記録メディア (SD, USB) を取り外してから、ふたたび記録メディア (SD, USB) をセットします。

❖ 呼び出し手順 (記録メディア (SD, USB))

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 ホットキューを呼び出したいトラックをロードする

3 [HOT CUE] (CALL/DELETE) ボタンを押す

ホットキューの呼び出しモードに切り換わり、ホットキューが記録されている [HOT CUE] (A ~ H) ボタンが点滅します。

4 ホットキューを呼び出したい [HOT CUE] (A ~ H) ボタンを押す

ホットキューが呼び出され、[HOT CUE] (A ~ H) ボタンが緑色またはオレンジ色に点灯します。rekordbox、または本機でホットキューの色が設定されている場合は、設定された色で点灯します。

- ホットキューを呼び出さなかつたときは、[HOT CUE] (A ~ H) ボタンを押さないまま [HOT CUE] (CALL/DELETE) ボタンを押します。ホットキューが呼び出されなかつたボタンは消灯します。
- ホットキューの呼び出しモードを誤って解除してしまったときは、もう一度 [HOT CUE] (CALL/DELETE) ボタンを押します。

❖ トラックロード時に自動でホットキューを呼び出す (記録メディア (SD, USB))

トラックロード時に自動でホットキューを呼び出すようにプレーヤーの設定を変更することができます。


1 [SHORTCUT] ボタンを押す

2 [SHORTCUT] 画面で HOT CUE AUTO LOAD の ON / rekordbox SETTING / OFF のいずれかを選択する

[UTILITY] でも設定を変更することができます。

- ON :





全ての曲に  が表示されトラックロード時に自動でホットキューが呼び出されます。トラックサーチ時も自動でホットキューが呼び出されます。

本体表示部の [A. HOT CUE] が赤色で点灯します。


- rekordbox SETTING :



rekordbox で設定された曲のみに  が表示され、 が表示されているトラックのロード時に自動でホットキューが呼び出されます。トラックサーチ時は、ホットキューは、呼び出されません。本体表示部の [A. HOT CUE] が白色で点灯します。

- OFF :



 は表示されず、トラックロード時にホットキューは呼び出されません。

❖ ホットキューの呼び出しモードを解除する

ホットキューの呼び出しモードを解除するには、以下のいずれかの操作をします。

ディスクからトラックをロード中の場合、再生するトラックを変更してもホットキューの呼び出しモードは解除されません。

1 ホットキューをすべて呼び出す

2 [HOT CUE] (CALL/DELETE) ボタンを押す

3 記録メディア (SD, USB) で再生するトラックを変更する



❖ ホットキューを削除する

[CALL/DELETE] ボタンを押しながら、[HOT CUE] (A ~ H) ボタンのいずれかを押す

該当するボタンに記録されているホットキューが削除され、新たに記録できるようになります。

キューポイントまたはループポイントを保存する

- 1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする
- 2 キューポイントまたはループポイントを設定する
- 3 [MEMORY] ボタンを押す

本体表示部に [ MEMORY] または [ MEMORY] が数秒間表示され、記録メディア (SD, USB) にポイント情報が記録されます。記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に [▼] で表示されます。

- ディスクに記録されているトラックを再生している場合、SDメモリーカードとUSBデバイスの両方が本機にセットされているときは、SDメモリーカードに優先してポイント情報が記録されます。記録するメディアは、[MENU] で選ぶこともできます。また、PRO DJ LINK 接続されている他のDJプレーヤーにセットされているメディアを選ぶこともできます。
- ループポイントを保存するときは、ループ再生中に [MEMORY] ボタンを押します。

保存されているキューポイントまたはループポイント呼び出す

- 1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする
- 2 キューポイントまたはループポイント呼び出したトラックをロードする

記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に [▼] で表示されます。

- 3 [CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] ボタンを押す

現在の再生位置よりも手前のポイント呼び出したい場合は、[CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] を押します。後ろのポイント呼び出したい場合は、[CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] を押します。呼び出したポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびに他のポイント呼び出します。
- アクティブループとして設定されているループも保存されたループとして呼び出せます。
- 呼び出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。

- 4 [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す



呼び出したポイントから再生またはループ再生を始めます。

保存されたキューポイントまたはループポイントを消去する

ポイントを個別に消去する

- 1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする
 - 2 キューポイントまたはループポイントを消去したいトラックをロードする
- 記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に [▼] で表示されます。
- 3 [CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] ボタンを押して、消去したいポイント呼び出す
- 呼び出したポイントで頭出しされて一時停止状態になります。
- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびに他のポイント呼び出します。

- 4 [DELETE] ボタンを押す

本体表示部に [ DELETE] または [ DELETE] と表示され、選んだポイント情報が消去されます。

- アクティブループとして設定されている保存されたループを消去した場合、アクティブループも消去されます。

ポイントをディスク単位で消去する

- 1 ディスクを本機にセットする
- ディスク以外のメディアからトラックがロードされている場合は、ディスクに収録されているいずれかのトラックをロードします。
- 2 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする
 - 3 [DELETE] ボタンを5秒以上押す
- 本体表示部に [DISC CUE/LOOP DATA-DELETE? PUSH MEMORY] と表示されます。
- 4 [MEMORY] ボタンを押す
- 本機にセットされているディスクに関するキューポイントまたはループポイントが消去されます。
- [MEMORY] ボタン以外のボタンを押すと消去モードが解除されます。

記録メディア (SD, USB) に記録されているディスクの情報をすべて消去する

ディスク情報が記憶された記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

- 1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする
 - 2 本機にディスクをセットしていない状態で、[DELETE] ボタンを5秒以上押す
- 本体表示部に [DISC CUE/LOOP DATA-DELETE ALL? PUSH MEMORY] と表示されます。

- 3 [MEMORY] ボタンを押す
- 記録メディア (SD, USB) に記録されているディスクの情報がすべて消去されます。
- [MEMORY] ボタン以外のボタンを押すと消去モードが解除されます。

オートキューのキューポイントを設定する

オートキューとして設定されるキューポイントを以下の方法から選ぶことができます。

無音部として認識する音圧レベルによる設定 (8段階)
- 36 dB, - 42 dB, - 48 dB, - 54 dB, - 60 dB, - 66 dB, - 72 dB, - 78 dB

保存されたキューを自動でキューポイントにする設定
MEMORY : 保存されたキューポイントのうち、曲の始めに最も近いものがオートキューのキューポイントに設定されます。

- [MEMORY] を設定した場合は本体表示部の [A. CUE] が白色で点灯します。

オートキューのキューポイントの設定は、以下の方法で変更できます。

- 1 [MENU/UTILITY] ボタンを1秒以上押す
[UTILITY] 画面が表示されます。
- 2 ロータリーセレクターを回してから押す
[AUTO CUE LEVEL] を選びます。
- 3 ロータリーセレクターを回してから押す
音圧レベルの値、または [MEMORY] を選びます。

ビートジャンプ、ループムーブを使う

再生位置を前後 1 拍分移動させることができます。

[1BEAT] をタッチする

- LOOP 中にタッチした場合は、ループの再生位置が移動します。
- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。
- クオンタイズの機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

スリップを使う

スリップをオンすると一時停止中 (VINYL モード中)、スクラッチプレイ中、ループ再生中、ホットキュープレイ中、または逆再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スリップ動作を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。
(スリップビートループ、スリップリバーズ、スリップホットキューのみ)

バックグラウンドでの再生位置の表示



- スリップモード中は、現在再生位置は本体表示部の波形表示 (全体波形、拡大波形) に黄色の線で表示されます。バックグラウンドでの再生位置は本体表示部の波形表示 (全体波形) に白色の線で表示されます。
- また、ジョグダイヤルのスリップ再生表示にも表示されます。

スリップポーズ

1 [JOG MODE] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

3 再生中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す

一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

4 [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押して一時停止を解除する

バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップスクラッチプレイ

1 [JOG MODE] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

3 再生中にジョグダイヤルの天面を押す

スクラッチプレイします。スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップループ

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

2 [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押してから [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループ再生を始めます。ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

- 8 秒以上のループは設定できません。
- 以下の方法でループを設定した場合も同じ動作をします。

- [4/8BEAT (LOOP CUTTER)] ボタンを押す。
- [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを 1 秒以上押す。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップビートループ

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

2 設定したい拍数をタッチし続ける

自動的にループが設定されてループ再生を始めます。ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

- 拍選択画面は、スリップ機能をオンにした時に表示されます。
- 指をスライドさせて別の拍を選ぶこともできます。

3 拍数選択から指を放す

バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

4 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

最後に設定したループが再生され、スリップループになります。

- 指をスライドさせて別の拍を選んだあと、スリップビートループを解除した場合、[RELOOP/EXIT] ボタンで呼び出されるループは最初 (再生中) に設定したループになります。

スリップリバーズ

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

2 再生中に [DIRECTION FWD/REV/SLIP REV] レバーを [REV] 側に倒す

[REV] インジケーターが点灯し、逆方向に再生します。逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

- スリップリバーズは [DIRECTION FWD/ REV/SLIP REV] レバーを [REV] 側に倒した位置から 8 拍経過した位置で自動的に解除され、バックグラウンドに戻って通常再生となり [REV] インジケーターが点滅します。
- 8 拍経過する前に [DIRECTION FWD/ REV/SLIP REV] レバーを [FWD] 側に倒すと、スリップリバーズを解除してバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
- SLIP のオン/オフに関わらず [DIRECTION FWD/ REV/SLIP REV] レバーを SLIP REV 側に倒すと、倒している間スリップリバーズ動作を行います。

スリップホットキュー

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

2 [HOT CUE] (A ~ H) ボタンを押し続ける

ホットキューが開始されます。

[HOT CUE] (A ~ H) ボタンを押し続けている間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

- スリップホットキューは、ホットキュー開始から 4 拍経過した位置で自動的に解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

3 [HOT CUE] (A ~ H) ボタンから指を放す

ホットキュー開始から 4 拍経過する前に [HOT CUE] (A ~ H) ボタンから指を放すとバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップモードを解除する

[SLIP] ボタンを押す

スリップモードが解除されます。

- スリップモードは、トラックをロードしたときにも解除されます。

波形表示部に触れた位置から再生する

波形表示部に指で触れると、触れた位置の音声を簡単に再生できます。波形表示部に触れたまま指を移動させると、目的の位置まで素早く移動できます。

波形表示部をタッチするサーチは以下の状態のときだけ操作できます。

- 一時停止しているとき
- VINYL モード設定時にジョグダイヤルを押ししているとき

一時停止中に波形表示部に触れる



プレーイングアドレス表示の現在の再生位置が、触れた位置に移動します。

- 指を素早く動かすと、プレーイングアドレス表示が正しく表示されないことがあります。

ビートシンクを使う

ビートシンクをオンにすると本機で再生するトラックの BPM と拍位置を PRO DJ LINK 接続されているシンクマスターに設定した DJ プレーヤーに自動的に合わせることができます。

- rekordbox で解析していないトラックではビートシンクは動作しません。

1 シンクマスターにしたい DJ プレーヤーの

[BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す

シンクマスターにしたい DJ プレーヤーを決定します。

ビートシンクが機能しているときは、シンクマスターにした DJ プレーヤーの BPM 表示部分がオレンジ色に変化します。

- シンクマスターは rekordbox (Mac/Windows) にすることもできます。
 - rekordbox (Mac/Windows) をシンクマスターにする方法については、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルをご覧ください。

2 [BEAT SYNC] ボタンを押す

再生中のトラックの BPM と拍位置がシンクマスターに同期します。

- 同期が行われると、テンポスライダーによるテンポコントロールが無効になり、再生速度表示がテンポスライダーの位置の BPM 表示に変わり灰色で表示されます。

シンクマスターにする DJ プレーヤーを変更する

以下の方法によりシンクマスターを PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーに変更することができます。

- シンクマスターにしている DJ プレーヤーの曲を変更する、または一時停止する。
- シンクマスターにしている DJ プレーヤーの [BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す。
- シンクマスター以外の DJ プレーヤーの [BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す。

シンクマスターにした DJ プレーヤーにロードされているトラックの再生位置と同じ位置から再生を開始する

以下の方法によりシンクマスター以外の DJ プレーヤーでシンクマスターにした DJ プレーヤーにロードされているトラックを同じ再生位置から再生開始することができます。

- シンクマスターにした DJ プレーヤーにロードされているトラックをシンクマスター以外の DJ プレーヤーにロードする。
- シンクマスター以外の DJ プレーヤーの [BEAT SYNC/INST.DOUBLE] ボタンを 1 秒以上押す。

同期を解除する

[BEAT SYNC/INST.DOUBLE] ボタンを押す

- 同期中の再生テンポ (BPM) とスライダーの位置のテンポ (BPM) が一致していない時は同期中の再生テンポを維持してテンポスライダーでのテンポコントロールは無効のままになります。テンポスライダーの位置を同期中の再生テンポのところへ移動させると通常の動作に戻ります。
- シンクマスター以外の DJ プレーヤーでピッチベンドを行った場合も同期が解除され [BEAT SYNC/INST.DOUBLE] ボタンが点滅します。

拍位置を調整する (アジャストビートグリッド)

拡大波形表示に拍位置が赤色の線で表示されます。拍位置線 (ビートグリッド) を以下の手順で修正できます。

1 ローターセレクターを 1 秒以上押す

[GRID ADJUST] モードに切り換わります。

2 ローターセレクターを回して、ビートグリッドを調整する

[MENU/UTILITY] ボタンを押して、メニュー画面からも調整することができます。

- [RESET] : 調整したビートグリッドをリセットします。
- [SNAP GRID(CUE)] : 現在設定されているキューの場所に 1 拍目を移動します。
- [SHIFT GRID] : 同期中に調整した結果 (ピッチベンドなど) をビートグリッドに反映します。

3 ローターセレクターを 1 秒以上押す

[ZOOM] モードに戻ります。

他機器と組み合わせて操作する

Pioneer DJ 製 DJ ミキサーと LAN ケーブルを使って接続すると、本機の再生を始めるなどの操作を、DJ ミキサーとのフェーダーで制御できます。

- あらかじめ本機と Pioneer DJ 製 DJ ミキサーを接続してください。接続のしかたについては、9 ページの「接続する」をご覧ください。
- プレーヤー番号の設定については、9 ページの「LAN ポートが 1 つしかないミキサーに接続する場合」をご覧ください。
- Pioneer DJ 製 DJ ミキサーの取扱説明書に掲載されているフェーダースタート機能もあわせてご覧ください。

DJ ミキサーのフェーダーを使って再生を始める (フェーダースタート)

1 本機と Pioneer DJ 製 DJ ミキサーを LAN ケーブルを使って接続する
接続方法については、9 ページの「基本スタイル」をご覧ください。

2 DJ ミキサーのフェーダースタート機能をオンにする

3 本機のキューを設定する

4 DJ ミキサーのチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを動かす

本機の一時停止状態を解除して瞬時にトラックを再生します。

- チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーの位置を元に戻すと、設定していたキューポイントに戻り、頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

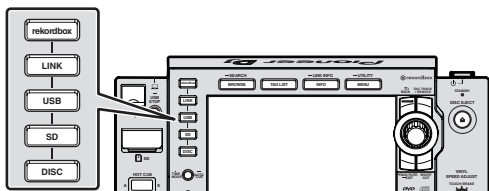
トラックをブラウズする

各メディアや接続されたコンピューター上の rekordbox のライブラリをブラウズして、トラックをリスト表示することができます。

- rekordbox のライブラリ情報が入っていない記録メディア (SD、USB) をブラウズしたときは、フォルダとトラック (音楽ファイル) を階層構造でリスト表示します。

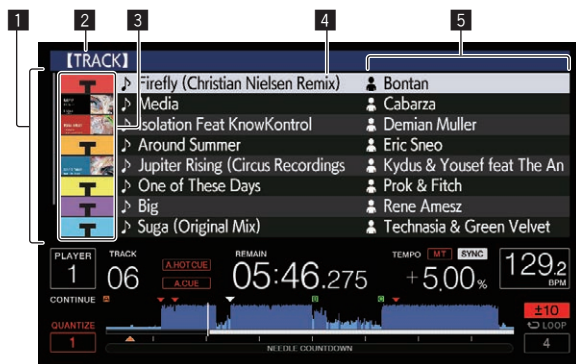
ブラウズ画面に切り換える

表示したいメディアに対応したメディアボタンを押す
ボタンを押すと、各ソースの内容がリスト表示されます。



- [DISC] ボタン：挿入されているディスク内の音楽ファイルを表示します。
- [SD] ボタン：挿入されている SD メモリーカード内の音楽ファイルを表示します。
- [USB]：接続されている USB デバイス、rekordbox をインストールしたモバイルデバイス内の音楽ファイルを表示します。
- [LINK] ボタン：他の DJ プレーヤーにセットされている記録メディア (SD、USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイス内の音楽ファイルを表示します。
- [rekordbox] ボタン：rekordbox 内の音楽ファイルを表示します。
- ブラウズ画面にしているときは [BROWSE/SEARCH] ボタンが点灯します。
- ブラウズ画面表示中に [BROWSE/SEARCH] ボタンを押すと、ブラウズ画面を閉じて通常再生画面に戻ります。もう一度、[BROWSE/SEARCH] ボタンを押すと、前回のブラウズ画面を開きます。

❖ 画面の見かた



1 内容一覧	選んでいるメディアの内容を表示します。
2 上位階層	表示されている項目の上位フォルダー、またはメディアの名前を表示します。
3 ジャケット写真	rekordbox で登録したアートワークの一部を表示します。 [INFO/LINK INFO] ボタンを押すとジャケット写真が消えて、曲名が左詰めで表示されます。 プレイリスト、演奏履歴リストのときは、連番が表示されます。 rekordbox ライブラリがないときは、常に曲名が左詰めで表示されます。
4 カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。
5 ユーザー設定カテゴリ	rekordbox で表示するカテゴリを選ぶことができます。 [INFO/LINK INFO] ボタンを押すとカーソルで選んでいるトラックの詳細情報を表示します。 rekordbox ライブラリがない場合は、カーソルで選んでいるトラックの詳細情報が表示されます。

❖ 再生中のメディアを判別するには

メディアボタンの点灯状態により、再生中のメディアとブラウズ画面に表示されているメディアが把握できます。

- 点灯：そのメディアがブラウズされているときに点灯します。
- 点滅：そのメディア内のトラックがロードされているときに点滅します。

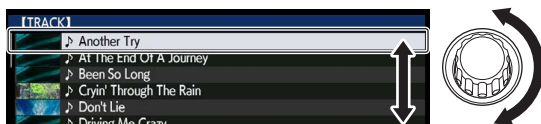
ブラウズ画面での基本操作

❖ 項目を選ぶ

1 ブラウズ画面を表示します

- 「ブラウズ画面に切り換える」(p.29)

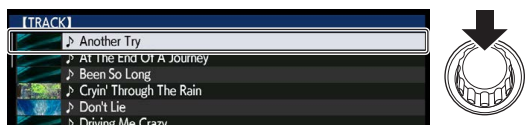
2 ロータリーセレクターを回して項目を選ぶ



ロータリーセレクターを 1 秒以上押しと、ジャンプ機能が使えます。

- ジャンプ機能について詳しくは、30 ページの「ジャンプ機能を使って探す」をご覧ください。

3 ロータリーセレクターを押して項目を決定する



下に階層があるときは、その階層を開きます。メニューなどが表示されているときは、選択中の項目を決定します。
トラックにカーソルを当てた状態でロータリーセレクターを押すと、そのトラックを本機にロードします。

❖ 階層に戻る

ブラウザ画面表示中に [BACK] ボタンを押す

階層を1つ上に戻します。

- [BACK] ボタンを1秒以上押す、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。
- 記録メディア (SD, USB) またはコンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する場合には、最上位階層で [BACK] ボタンを押すと以下の情報を見ることができます。
 - 記録メディア (SD, USB) に rekordbox のライブラリ情報が無い場合：そのメディアの空き容量と使用容量
 - 記録メディア (SD, USB) に rekordbox のライブラリ情報がある場合：そのメディアの空き容量と使用容量、ライブラリ情報内のトラック数、プレイリスト数、更新日
 - コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox：ライブラリ情報内のトラック数、プレイリスト数

その他のブラウズ操作

トラックを並べ替える (ソートメニュー)

ブラウズしているとき、ソートメニューを使ってトラックを並べ替えられます。

- 本機能は以下のライブラリに対してのみ行うことができます。
 - コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリをブラウズしているとき
 - 記憶メディア (SD, USB) の rekordbox ライブラリをブラウズしているとき

1 rekordbox ライブラリを表示させる

- 「本機にセットされたメディアを再生する」 (p.20)
- 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」 (p.20)
- 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」 (p.21)

2 トラックがリスト表示されているときに

[MENU/UTILITY] ボタンを押す

画面にソートメニューが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、ソートしたい項目を選んで決定する

選んだ項目に従ってリスト上のトラックが並び替わります。

- ソートメニューに表示させる並べ替え項目は、rekordbox の設定で変更できます。記録メディア (SD, USB) 上の rekordbox ライブラリは、設定を変更したあとに再度エクスポートすると反映されます。

トラックを探す

- 本機能は以下のライブラリに対してのみ行うことができます。
 - コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリをブラウズしているとき
 - 記憶メディア (SD, USB) の rekordbox ライブラリをブラウズしているとき

❖ [SEARCH] カテゴリーを使って探す

ライブラリブラウズしているとき、[SEARCH] カテゴリーを使ってトラックを検索できます。

1 rekordbox ライブラリを表示させる

- 「本機にセットされたメディアを再生する」 (p.20)
- 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」 (p.20)
- 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」 (p.21)

2 ロータリーセレクターを使って、カテゴリーで [SEARCH] を選んで決定する

タッチディスプレイ内にキーボードが表示されます。

以下の方法でも、[SEARCH] 画面が起動できます。

- [BROWSE/SEARCH] ボタンを1秒以上押す。
- [SHORTCUT] 画面内で [SEARCH] をタッチする。

3 タッチディスプレイ内のキーボードを使って文字を入力する

入力した文字を含むトラック等を表示します。

- 続けて文字を入力すると、入力した文字列を含むトラック等を表示します。
- [BACK] ボタンを押すとカテゴリー選択画面に戻ります。

❖ [TRACK FILTER] を使って探す

1 rekordbox ライブラリを表示させる

- 「本機にセットされたメディアを再生する」 (p.20)
- 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」 (p.20)
- 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」 (p.21)

2 トラックがリスト表示されているときに

[TRACK FILTER] ボタンを押す

BPM、KEY などの指定した条件に一致する楽曲だけが表示されます。

- [TRACK FILTER] ボタンを1秒以上押すと条件設定画面が表示され [TRACK FILTER] 条件 (楽曲に付加したタグ情報や BPM、KEY、RATING、COLOR) を設定することができます。また、rekordbox でも [TRACK FILTER] 条件を設定することができます。
- [MASTER PLAYER] をタッチするとシンクマスターにした DJ プレーヤーの BPM、KEY を [TRACK FILTER] 条件として取り込むことができます。
- 設定条件は、記憶メディア (SD, USB) 毎にそれぞれ記憶されます。

再生中の曲の KEY (調) を使って探す

シンクマスターにした DJ プレーヤーにロードされているトラックの KEY と相性の良い曲のアイコンが KEY アイコン (緑色) に変わります。

ジャンプ機能を使って探す

ジャンプ機能を使って、再生したいトラック、カテゴリー、またはフォルダーに瞬時に移動できます。

ジャンプ機能には、以下2つのモードがあります。

- アルファベットジャンプ：アルファベット順に並んでいる、または並べ替えているときに使います。
- ページジャンプ：アルファベット順に並んでいない、または並べ替えていないとき使います。

❖ アルファベットジャンプのとき

1 アルファベット順に並んでいるリストを表示させる

rekordbox のライブラリや記録メディア (SD, USB) 内のトラックリストなど、アルファベット順に並んでいるリストを表示させます。

2 ロータリーセレクターを1秒以上押す

アルファベットジャンプモードに切り換わります。カーソルで選んでいるトラックまたはカテゴリーの頭文字が拡大表示されます。

3 ロータリーセレクターを回して、文字または記号を選ぶ

選んだ文字または記号で始まるトラック、またはカテゴリーにカーソル位置が移動します。

- 選んだ文字から始まるカテゴリーがリストにない場合はカーソルは移動しません。アルファベットジャンプで表示される文字は A ~ Z、0 ~ 9、および一部の記号です。

❖ ページジャンプのとき

1 アルファベット順に並んでいないリストを表示させる
音楽 CD のトラックや記録メディア (SD, USB) またはディスク内のフォルダなど、アルファベット順に並んでいないリストを表示させます。

2 ローターセレクターを 1 秒以上押す
ページジャンプモードに切り換わります。

3 ローターセレクターを回して、ページを選ぶ
選んだページに移動します。

❖ INFORMATION ジャンプ機能を使う

詳細情報に表示されている項目を選んで、トラックが含まれるカテゴリを表示できます。この機能はロードしているトラックと同じジャンルや近い BPM 値のトラックを探す場合に便利です。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO/LINK INFO] ボタンを押す
トラックの詳細情報が表示されます。

- 詳しくは 33 ページの「ロードされているトラックの詳細情報を表示する」をご覧ください。

3 項目を選んで決定する

ブラウズ画面に切り換わり、選択した項目のカテゴリを表示します。

- ブラウズ画面を閉じるには、[BROWSE/SEARCH] ボタンを押します。
- ブラウズ画面に表示するべき項目がないものや、詳細画面にアイコンだけが表示されている項目は選べないことがあります。
- トラックを選んだときは、トラックがロードされる直前に表示していた画面を表示します。
- ディスクのトラック、rekordbox ライブラリが入っていない記録メディア (SD, USB) では、項目はトラックのみ選択できます。

ホットキューバンクを使う

あらかじめ rekordbox で設定しておいたホットキューバンクを、本機の [HOT CUE] (A ~ H) ボタンに一度でセットできます。

1 ホットキューバンクが記録されている記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 ローターセレクターを使って、ブラウズ画面でカテゴリの [HOT CUE BANK] を選んで決定する

ホットキューバンクがリスト表示されます。

3 ローターセレクターを使って、呼び出したいホットキューバンクを選んで決定する

選んだホットキューバンクに登録されているホットキューが画面に表示されます。

- カーソルはホットキューバンク A に固定されます。ロータリーセレクターやその他のボタンを使って移動できません。

4 ローターセレクターを押す

本機の [HOT CUE] (A ~ H) ボタンにセットされたホットキューがホットキューバンクに登録されているホットキューで上書きされます。

- ホットキューバンクをセットしたあと、本機の [HOT CUE] (A ~ H) ボタンのいずれかに新しいホットキューを上書きすると、ホットキューバンクから登録したホットキューは全て削除されます。
- ホットキューバンクは本機では編集できません。rekordbox を使って編集してください。詳しくは、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルをご覧ください。

演奏履歴を参照する (HISTORY)

ブラウズ画面でのカテゴリの [HISTORY] には、トラックの演奏履歴が記録および表示されます。

- rekordbox を使って [HISTORY] の演奏履歴を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルをご覧ください。

演奏履歴を記録する

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 トラックを再生する

約 1 分間プレイしたトラックが演奏履歴リストに記録されます。

- 記録メディア (SD, USB) を本機にはじめてセットしたとき、または再セットしたとき、記録メディア (SD, USB) 内に新しい演奏履歴リストが自動で作成されます。
- [UTILITY] で演奏履歴リストの名前をあらかじめ設定しておくことができます。
 - 「演奏履歴リストの名前を設定する」(p.36)
- 同一のトラックを 2 回以上連続してプレイした場合は、履歴に残らないことがあります。
- 1 つの演奏履歴リストに記憶できる最大トラック数は、999 トラックです。1 000 トラック以上を記憶するときは、新たな履歴を記憶するために一番古い履歴が削除されます。演奏履歴リストは 999 個まで作成できます。
- 演奏履歴リストに登録されたトラックは、曲名等が緑色 (再生済み) に変わります。
- カテゴリの [PLAYLIST] 内のトラックは [MENU/UTILITY] ボタンを使って曲名等を緑色 (再生済み) に変更することができます。変更を行うと演奏履歴リストにトラックが登録されます。

演奏履歴を削除する

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 rekordbox ライブラリを表示させる

- 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.20)
- 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」(p.20)
- 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.21)

3 ローターセレクターを使って、カテゴリで [HISTORY] を選んで決定する

演奏履歴リストがリスト表示されます。

4 ローターセレクターを回して、削除したい演奏履歴リストを選ぶ

5 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

削除メニューが表示されます。

6 ローターセレクターを回して、削除範囲を選んで決定する

- [DELETE] : 選ばれている演奏履歴リストが削除されます。
- [ALL DELETE] : すべての演奏履歴リストが削除されます。
- 記録メディア (SD, USB) の演奏履歴リストを rekordbox にプレイリストとして取り込むと、取り込まれた演奏履歴リストは記録メディア (SD, USB) から削除されます。
- カテゴリの [PLAYLIST] 内のトラックは、[MENU/UTILITY] で曲名等を緑色 (再生済み) から白色 (未再生) に変更することができます。変更を行うと演奏履歴リストからトラックが削除されます。

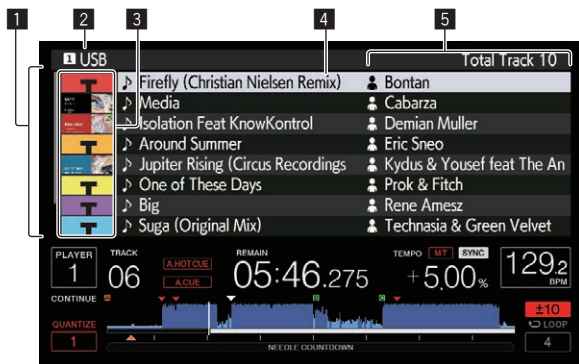
7 ローターセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストを編集する

次に再生するトラックや DJ シーンに合わせて選んだトラックを、マークを付けてあらかじめリストに集めておくことができます。集めたトラックリストを「タグリスト」といいます。タグリストは PRO DJ LINK 接続されている複数の DJ プレーヤーの間で、リアルタイムで相互に参照できるリストです。

- タグリストに追加できるトラック数は、1 メディア当たり 100 トラックです。
- タグリストは 1 つの記録メディア (SD, USB) で 1 つ作成されます。記録メディア (SD, USB) をまたいでトラックをリストに集めることはできません。

- 同一フォルダー内の同一トラックを重複して登録することはできません。




1 内容一覧	タグリストの内容を表示します。
2 メディア名	トラックが記録されているメディアの名前を表示します。
3 ジャケット写真	rekordbox で登録したアートワークの一部を表示します。 [INFO/LINK INFO] ボタンを押すとジャケット写真が消え連番が表示されます。
4 カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。
5 ユーザー設定 カテゴリー	rekordbox で表示するカテゴリーを選ぶことができます。 [INFO/LINK INFO] ボタンを押すとカーソルで選んでいるトラックの詳細情報を表示します。

タグリストにトラックを追加する

❖ トラックを選んで追加する

- 1 ブラウズ画面に切り換えて、トラックをリスト表示する
- 2 トラックにカーソルを合わせ [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

トラックの左側に  が表示され、その記録メディア (SD, USB) のタグリストにトラックが追加されます。

- rekordbox を使って、あらかじめタグリストにトラックを登録しておくことができます。
 - ➡ 詳細な操作方法については、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルをご覧ください。

❖ ロードしているトラックを追加する

- 1 トラックをロードする

2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

本機にロードされているトラックがタグリストに追加されます。

- トラックの詳細情報画面でも [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押すとロード中のトラックをタグリストに追加することができます。

❖ カテゴリーまたはフォルダーごと追加する

選んだカテゴリーまたはフォルダー内のすべてのトラックをタグリストに追加できます。

- 1 ブラウズ画面に切り換えて、直下にトラックが含まれるカテゴリーまたはフォルダーにカーソルを合わせる
情報表示画面の右半分にはトラックが一覧表示されている状態になります。

2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

カテゴリー名またはフォルダー名が点滅し、カテゴリーまたはフォルダー内のすべてのトラックがタグリストに追加されます。

- フォルダークラスで表示しているときにフォルダーを追加すると、ID3 等を一度も読み込んでいないトラックはトラック名がファイル名で登録されます。アーティスト名は登録されません。

- タグリストに追加したあと、登録曲をブラウザ画面のトラックリスト内で表示する、または登録曲をプレーヤーにロードして ID3 等を読み込むとファイル名はトラック名に変わりアーティスト名も登録されます。

❖ プレイリストからトラックを追加する

選んだプレイリスト内のトラックをタグリストに追加できます。

- 1 ブラウズ画面に切り換えて、カテゴリーの [PLAYLIST] を選んで決定する

プレイリストがリスト表示され、情報表示画面の右半分にはトラックが一覧表示されている状態になります。

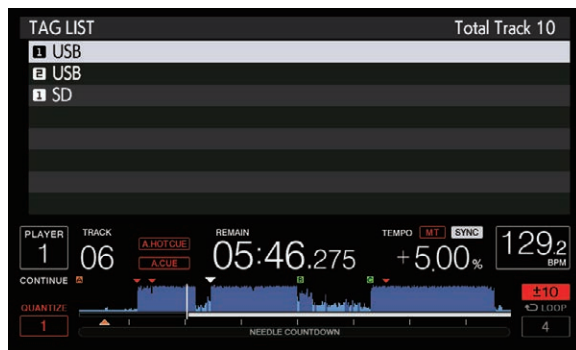
- 2 プレイリストにカーソルを合わせて、[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

プレイリスト名が点滅し、プレイリスト内のトラックがタグリストに追加されます。

タグリストからトラックをロードする

- 1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。



- DJ プレーヤーに複数の記録メディア (SD, USB) がセットされている場合、記録メディア (SD, USB) の名前の前にその記録メディア (SD, USB) がセットされているプレーヤー番号が表示されます。

- 2 ロータリーセレクターを使って、記録メディア (SD, USB) を選んで決定する

記録メディア (SD, USB) を選ぶと、その記録メディア (SD, USB) 内のタグリストが表示されます。

- 3 ロータリーセレクターを使って、ロードしたいトラックを選んで決定する

トラックがロードされ再生が始まります。

タグリストからトラックを削除する

タグリスト上からトラックを削除することができます。

- タグリストに追加されているトラックを再生しているとき、そのトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次トラックは再生しません。

❖ 1 トラックずつ削除する

- 1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

- 2 ロータリーセレクターを使って、記録メディア (SD, USB) を選んで決定する

記録メディア (SD, USB) を選ぶと、その記録メディア (SD, USB) 内のタグリストが表示されます。

- 3 ロータリーセレクターを使って、削除したいトラックにカーソルを合わせる

4 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを 1 秒以上押す

以下の画面の時に [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押すとタグリストからトラックを削除することができます。

- ブラウズ画面で、タグリストに登録されているトラックにカーソルが合っているとき。
- タグリストに登録されているトラックのロード中に、通常再生画面またはトラックの詳細情報画面が表示されているとき。

❖ すべてのトラックを削除する

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

2 ローターセレクターを使って、記録メディア (SD, USB) を選んで決定する

記録メディア (SD, USB) を選ぶと、その記録メディア (SD, USB) 内のタグリストが表示されます。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

[LIST MENU] が表示されます。

4 ローターセレクターを使って、[TAGLIST MENU] を選んで決定する

[TAGLIST MENU] が表示されます。

5 ローターセレクターを使って、[REMOVE ALL TRACKS] を選んで決定する

6 ローターセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストとして集めたトラックをプレイリストに変換することができます。

- 変換したプレイリストはカテゴリーの [PLAYLIST] の項目として表示できます。

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

2 ローターセレクターを使って、記録メディア (SD, USB) を選んで決定する

記録メディア (SD, USB) を選ぶと、その記録メディア (SD, USB) 内のタグリストが表示されます。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

[LIST MENU] が表示されます。

4 ローターセレクターを使って、[TAGLIST MENU] を選んで決定する

[TAGLIST MENU] が表示されます。

5 ローターセレクターを使って、[CREATE PLAYLIST] を選んで決定する

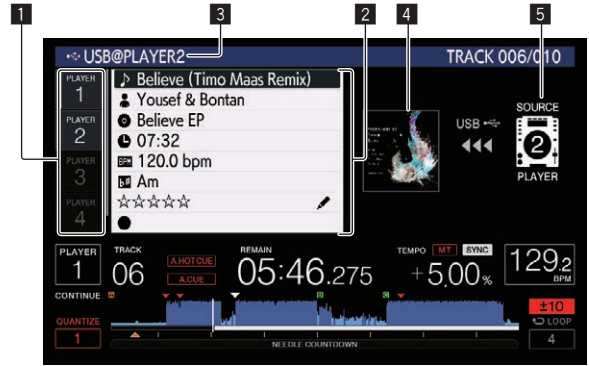
6 ローターセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストの内容が [TAG LIST XXX] という名前のプレイリストに変換されます。

- 記録メディア (SD, USB) 内に rekordbox のライブラリ情報が記録されていないときは、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに rekordbox で管理しているトラックと rekordbox で管理していないトラックの両方を登録している場合、rekordbox で管理されているトラックだけプレイリストに変換されます。

ロードされているトラックの詳細情報を表示する

ロードされているトラックの詳細情報を確認できます。



1 プレーヤーセレクト	タッチされたプレーヤーセレクトに対応した表示が点灯します。
2 トラック情報詳細	プレーヤーセレクトで指定された DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示します。
3 メディア / プレーヤー番号	トラックの情報が保存されている場所を表示します。
4 ジャケット写真、コメント	DJ プレーヤーにロードされているトラックのジャケット写真およびコメントを表示します。
5 ソース表示	ロードされているトラックの格納元を表示します。

本機に挿入されたメディアからトラックがロードされているときは、ソース表示 (5) は表示されません。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO/LINK INFO] ボタンを押す

トラックの詳細情報が表示されます。

- プレーヤーセレクトが本機を選択していない場合は、[プレーヤーセレクト] をタッチして本機を選択してください。
- ブラウズ画面、タグリスト画面では [INFO/LINK INFO] ボタンを 1 秒以上押すことによりロード中のトラックの詳細情報を表示することができます。

曲のレーティングを変更する

曲のレーティング (評価) を変更できます。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO/LINK INFO] ボタンを押す

トラックの詳細情報が表示されます。

3 詳細情報に表示されているレーティング (表示例: ☆☆☆☆☆) を選ぶ

4 ローターセレクターを 1 秒以上押してから、ローターセレクターを左または右に回す

ロード中の曲のレーティングが変更されます。

5 ローターセレクターを押して、レーティングを決定する

他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示する

他の DJ プレーヤーが PRO DJ LINK 接続されているときは、他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を確認できます。

1 本機と DJ プレーヤーを PRO DJ LINK 接続する

2 通常再生画面で [INFO/LINK INFO] ボタンを押す

3 プレーヤーセレクトをタッチしてトラック情報を見たい DJ プレーヤーを選択する

選んだ DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報が表示されます。

設定を変更する

設定内容を記録メディア (SD, USB) に記録する

[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を記録メディア (SD, USB) に記録できます。

記録した設定内容は、rekordbox へ書き出せます。

rekordbox で本機の設定を行ってから記録メディア (SD, USB) に記録し、その設定値を他のプレーヤーに反映することもできます。

- 記録される設定内容は以下です。

— [UTILITY] の設定内容

PLAY MODE、EJECT/LOAD LOCK、QUANTIZE BEAT VALUE、HOT CUE AUTO LOAD、HOT CUE COLOR、AUTO CUE LEVEL、SLIP FLASHING、ON AIR DISPLAY、JOG BRIGHTNESS、JOG INDICATOR、DISC SLOT ILLUMINATION、LANGUAGE、LCD BRIGHTNESS

— その他の設定内容

TIME MODE (本体表示部の時間表示方法)、AUTO CUE、JOG MODE、TEMPO RANGE、MASTER TEMPO、QUANTIZE、SYNC、PHASE METER

1 設定内容を記録したい記録メディア (SD, USB) をセットする

2 メディアボタン (SD,USB) を押す

設定内容を記録する記録メディア (SD, USB) が PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[LINK] ボタンを押して記録メディアを選んでください。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

4 ロータリーセレクターを使って [MY SETTINGS] の [SAVE] を選んで決定する

設定内容が記録されます。

- [SHORTCUT] 画面でも記録できます。

記録メディア (SD, USB) に記録した設定内容を呼び出す

記録メディア (SD, USB) に記録した、[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を呼び出すことができます。

1 設定内容を記録した記録メディア (SD, USB) をセットする

2 メディアボタン (SD,USB) を押す

設定内容を記録する記録メディア (SD, USB) が PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[LINK] ボタンを押して記録メディアを選んでください。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

4 ロータリーセレクターを使って [MY SETTINGS] の [LOAD] を選んで決定する

設定内容が呼び出されます。

- [SHORTCUT] 画面でも呼び出せます。

記録メディア (SD, USB) に設定されている色を変更する

記録メディア (SD, USB) を本機にセットしたときに表示する SD メモリーカードインジケータ、USB インジケータ、および画面表示の一部の色を変更することができます。

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 メディアボタン (SD,USB) を押す

設定内容を記録する記録メディア (SD, USB) が PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[LINK] ボタンを押して記録メディアを選んでください。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

4 ロータリーセレクターを使って、[MY SETTINGS] の [BACKGROUND COLOR]、または [WAVE FORM COLOR] を選ぶ

[BACKGROUND COLOR]:SD インジケータ、USB インジケータ、および画面表示の一部の色を変更するときに選択します。

[WAVE FORM COLOR]: 全体波形、拡大波形の色を変更するときに選択します。

rekordbox からエクスポートされた音楽ファイルや管理データが入っている記録メディア (SD, USB) のみ、変更することができます。

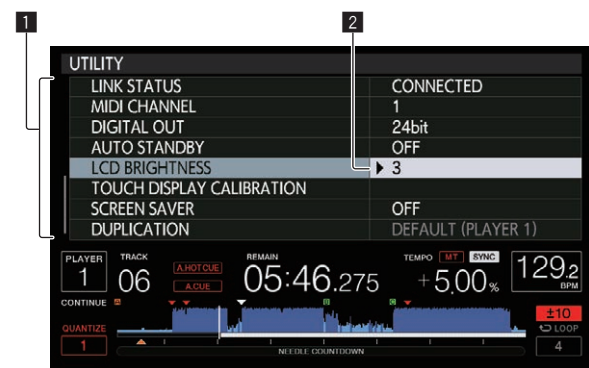
5 ロータリーセレクターを使って設定したい色を選んで決定する

[UTILITY] 画面を表示する

[MENU/UTILITY] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY] 画面が表示されます。

画面の見かた



1 設定項目 本機の設定項目が表示されます。

2 項目内容 それぞれの項目の設定値を表示します。

設定を変更する

1 [MENU/UTILITY] ボタンを 1 秒以上押す
[UTILITY] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回して、設定項目を選ぶ

3 変更したい項目にカーソルを合わせて、ロータリーセレクターを押す

カーソルが設定内容に移動します。

4 ロータリーセレクターを回して、設定内容を変更する

5 ロータリーセレクターを押して、設定内容を決定する
カーソルが設定項目に戻ります。

- 設定内容を決定する前に [BACK] ボタンを押すと変更を中止します。

6 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

[MENU/UTILITY] ボタンを押す前の画面に戻ります。

設定項目一覧

設定項目	設定範囲	説明
PLAY MODE	CONTINUE*/SINGLE	本機にロードされているトラックの再生方法を変更します。詳しくは 35 ページの「再生方法を変更する」をご覧ください。
EJECT/LOAD LOCK	LOCK/UNLOCK*	再生中のディスクの取り出し、再生中に新たなトラックのロードを禁止する / しないを設定します。
QUANTIZE BEAT VALUE	1/8、1/4、1/2、1*	QUANTIZE の拍サイズを変更します。 [SHORTCUT] 画面でも変更できます。
HOT CUE AUTO LOAD	ON/rekordbox SETTING*/OFF	詳しくは、25 ページの「トラックロード時に自動でホットキューを呼び出す (記録メディア (SD、USB))」をご覧ください。
HOT CUE COLOR	ON/OFF*	[HOT CUE] (A ~ H) ボタンの点灯色設定を変更できます。詳しくは 25 ページの「[HOT CUE] (A ~ H) ボタンの点灯色について」をご覧ください。
AUTO CUE LEVEL	-36 dB/-42 dB/-48 dB/-54 dB/-60 dB/-66 dB/-72 dB/-78 dB/MEMORY*	詳しくは、26 ページの「オートキューのキューポイントを設定する」をご覧ください。
SLIP FLASHING	ON*/OFF	[SLIP] ボタンを押したときに、スリップ機能が働くボタン等のインジケータを点滅させる / させないを設定します。
ON AIR DISPLAY	ON*/OFF	ON AIR DISPLAY 対応ミキサーと PRO DJ LINK 接続しているときの表示方法を選べます。ON AIR DISPLAY 対応ミキサー (DJM-2000 など) の取扱説明書もあわせてご覧ください。
JOG BRIGHTNESS	OFF/1/2*	JOG RING ILLUMINATION の明るさを選べます。
JOG INDICATOR	ON*/OFF	トラックの残り時間が少なくなったとき、JOG RING ILLUMINATION を点滅させる / 点滅させないを選べます。
DISC SLOT ILLUMINATION	OFF/1/2*	ディスク挿入口インジケータの明るさを設定します。
LANGUAGE	-	本体表示部に表示される言語を選べます。
HISTORY NAME	-	詳しくは、36 ページの「演奏履歴リストの名前を設定する」をご覧ください。
PLAYER No.	AUTO*, 1 ~ 4	本機のプレーヤー番号を設定します。本機にメディアがセットされているときは変更できません。
LINK STATUS	-	PRO DJ LINK 接続しているとき接続状態を表示します。
MIDI CHANNEL	1* ~ 16	詳しくは、37 ページの「MIDI チャンネル設定を変更する」をご覧ください。
DIGITAL OUT	16 bit/24 bit*	[DIGITAL OUT] 端子から出力する音声の bit 数を切り換えます。
AUTO STANDBY	ON*/OFF	詳しくは、35 ページの「オートスタンバイを設定する」をご覧ください。
LCD BRIGHTNESS	1 ~ 3* ~ 5	本体表示部の明るさを設定します。
TOUCH DISPLAY CALIBRATION	-	詳しくは、36 ページの「タッチディスプレイのずれを修正する」をご覧ください。

設定項目	設定範囲	説明
SCREEN SAVER	ON*/OFF	[ON] に設定すると、以下いずれかのとき、スクリーンセーバーが起動します。 <ul style="list-style-type: none"> 本機に 5 分以上トラックがロードされないとき 一時停止、キュー待機状態、または [END] が本体表示部に表示されたまま 100 分以上何も操作されないとき
DUPLICATION	DEFAULT*, ALL、PLAYER1 ~ 4	詳しくは、36 ページの「PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する」をご覧ください。
VERSION No.	-	本機のソフトウェアバージョンが表示されます。

* : お買い上げ時の設定

再生方法を変更する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.34)

2 ロータリーセクターを使って、[PLAY MODE] を選んで決定する

3 ロータリーセクターを使って、[CONTINUE] または [SINGLE] を選んで決定する

[CONTINUE] : すべてのモードで前の曲や次の曲に移動できます。
[SINGLE] : [TRACK SEARCH] ボタン、[SEARCH] ボタン以外では前の曲や次の曲へ移動できなくなり、再生中の曲が変更されると設定したキューポイントは解除されます。ディスクからトラックをロード中の場合、再生するトラックを変更しても設定したキューポイントは解除されません。

- 音楽 CD のトラックの場合は、設定にかかわらず [CONTINUE] で動作します。

オートスタンバイを設定する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.34)

2 ロータリーセクターを使って、[AUTO STANDBY] を選んで決定する

3 ロータリーセクターを使って、[ON] または [OFF] を選んで決定する

[AUTO STANDBY] を [ON] に設定すると、以下のときにオートスタンバイ機能が働きスタンバイ状態になります。

- ディスク、記録メディア (SD、USB) がセットされていない、かつ PRO DJ LINK 接続していない、かつ USB 端子 (本体背面部) にコンピューターが接続されていない状態で、4 時間以上まったく何も操作されないとき
- 本機を操作するとスタンバイ状態が解除されます。
- 本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[AUTO STANDBY] を [OFF] に設定してください。

演奏履歴リストの名前を設定する

記録メディア (SD, USB) に記録される演奏履歴リストの名前をあらかじめ設定できます。

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.34)

2 ローターセレクターを使って、[HISTORY NAME] を選んで決定する

3 タッチディスプレイに表示されるキーボードを使って文字を入力する

4 ローターセレクターを押して決定する

入力した名前に変更されます。

- 演奏履歴リストの名前を変更すると、演奏履歴リストの名前の後ろの数字が 001 に戻ります。この数字は演奏履歴リストが作成される度に順番に追加されます。
- [HISTORY] の名前に設定できる文字数は、半角英数と記号を合わせて 32 文字です。

言語を変更する

トラック名などの表示、画面上メッセージ表示に使われる言語を選択します。

- 言語を切り換えると、本体表示部に表示されるメッセージが選択した言語で表示されます。
- トラック名などを表示する際、Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示したいときは、[LANGUAGE] 設定を変更してください。

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.34)

2 ローターセレクターを使って、[LANGUAGE] を選んで決定する

3 ローターセレクターを使って、言語を選んで決定する 画面表示言語が変更されます。

タッチディスプレイのずれを修正する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.34)

2 ローターセレクターを使って、[TOUCH DISPLAY CALIBRATION] を選んで決定する

3 画面に表示される [+] を順番にタッチする

全部で 16 か所タッチします。

- 手を離れたときに [+] が移動しない場合は、長めにタッチしてから手を離してください。

4 ローターセレクターを押して決定する

設定の変更内容が保存されます。

- キャリブレーションを設定するときは、ボールペンのような先のとがった物は使用しないでください。

PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する

[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を、PRO DJ LINK で接続している他の DJ プレーヤーに複製できます。

- 複製される設定内容は以下です。

— [UTILITY] の設定内容

PLAY MODE、EJECT/LOAD LOCK、QUANTIZE BEAT VALUE、HOT CUE AUTO LOAD、HOT CUE COLOR、AUTO CUE LEVEL、SLIP FLASHING、ON AIR DISPLAY、JOG BRIGHTNESS、JOG INDICATOR、DISC SLOT ILLUMINATION、LANGUAGE、LCD BRIGHTNESS

— その他の設定内容

TIME MODE (本体表示部の時間表示方法)、AUTO CUE、JOG MODE、TEMPO RANGE、MASTER TEMPO、QUANTIZE、SYNC、PHASE METER

1 [DUPLICATION] を選んで決定する

2 設定を反映させたい DJ プレーヤーの再生を止める

3 ローターセレクターを使って、[PLAYER X] または [ALL] を選んで決定する

[PLAYER1]-[PLAYER4]：指定した DJ プレーヤーに設定を複製します。再生中の DJ プレーヤーは選べません。

[ALL]：PRO DJ LINK 接続中のすべての DJ プレーヤーに設定を複製します。再生中の DJ プレーヤーには設定を複製できません。

指定したプレーヤーの表示部に [DUPLICATED] と表示され、本機の [UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容が指定したプレーヤーに複製されます。

[DEFAULT]：本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

DJ ソフトウェアを使う

DJ ソフトウェアを操作する

本機は、ボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式、HID 形式で出力します。MIDI 対応または、HID 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。

本機をオーディオデバイスとして使うときは、あらかじめコンピューターにドライバーソフトウェアをインストールしてください (p.8)。また、DJ ソフトウェアのオーディオ出力デバイスの設定で本機を選んでおく必要があります。詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

1 本機の USB 端子とコンピューターを接続する

接続方法については、12 ページの「DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください。

2 [BROWSE/SEARCH] ボタンを押してから [LINK] ボタンを押す

メニュー画面に [CONTROL MODE] および [USB-MIDI] が表示されます。

3 [CONTROL MODE] を選んで決定する

接続中画面が表示されます。

4 [USB-MIDI] を選んで決定する

本機がコントロールモードに切り換わります。

5 DJ ソフトウェアを起動する

DJ ソフトウェアと通信が始まります。

- 本機のボタンおよびロータリーセレクターなどを使ってコンピューターの DJ ソフトウェアを操作できます。
- ボタンによっては DJ ソフトウェアの操作に使えないことがあります。
- 本機にトラックがロードされるとコントロールモードが解除されます。
- 本機が出力するメッセージについては 38 ページの「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

MIDI チャンネル設定を変更する

HID 形式で出力を行うときは、この操作は必要ありません。

1 [MENU/UTILITY] ボタンを 1 秒以上押す

ユーティリティ画面が表示されます。

2 [MIDI CHANNEL] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを回す

MIDI チャンネルを選んで設定を変更します。1 ~ 16 の設定を選びます。

4 ロータリーセレクターを押して決定する

5 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

元の画面に戻ります。

MIDI メッセージ一覧

SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ			備考
		MSB			
JOG (TOUCH)	-	Bn	10	dd	停止から4倍速の速度に対するリニア値で、停止で64.FWD方向:65(0.06倍速)~127(4倍速)・REV方向:63(0.06倍速)~0(4倍速)。
NEEDLE	GUI	Bn	1C	dd	OFF=0 1→127で左側→右側ポジション位置データ
TEMPO SLIDER	VR	Bn	1D	dd	0~127-側で0、+側で127
TOUCH/BRAKE	VR	Bn	1E	dd	0~127左側(min)で0、右側(max)で127
RELEASE/START	VR	Bn	1F	dd	0~127左側(min)で0、右側(max)で127
JOG RING	-	Bn	30	dd	0.5倍速から4倍速の速度に対するリニア値で、停止(0.49倍速以下)で64.FWD方向:65(0.5倍速)~127(4倍速)・REV方向:63(0.5倍速)~0(4倍速)。
ENCODER	General Purpose Controller	Bn	4F	dd	98~127、1~30前回の差分のカウント値を転送(±1~±30)±30以上のときは±30とする
PLAY/PAUSE	SW	9n	00	dd	OFF=0, ON=127
CUE	SW	9n	01	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH FWD	SW	9n	02	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH REV	SW	9n	03	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH NEXT	SW	9n	04	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH PREV	SW	9n	05	dd	OFF=0, ON=127
LOOP IN	SW	9n	06	dd	OFF=0, ON=127
LOOP OUT	SW	9n	07	dd	OFF=0, ON=127
RELOOP	SW	9n	08	dd	OFF=0, ON=127
QUANTIZE	SW	9n	09	dd	OFF=0, ON=127
MEMORY	SW	9n	0A	dd	OFF=0, ON=127
CALL NEXT	SW	9n	0B	dd	OFF=0, ON=127
CALL PREV	SW	9n	0C	dd	OFF=0, ON=127
DELETE	SW	9n	0D	dd	OFF=0, ON=127
TIME/A.CUE	SW	9n	0E	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO RESET	SW	9n	0F	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO RANGE	SW	9n	10	dd	OFF=0, ON=127
MT	SW	9n	11	dd	OFF=0, ON=127
JOG MODE	SW	9n	12	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE CALL/DELETE	SW	9n	13	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE E	SW	9n	14	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE F	SW	9n	15	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE G	SW	9n	16	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE H	SW	9n	17	dd	OFF=0, ON=127

SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ			備考
		MSB			
HOT CUE A	SW	9n	18	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE B	SW	9n	19	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE C	SW	9n	1A	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE D	SW	9n	1B	dd	OFF=0, ON=127
MASTER	SW	9n	1E	dd	OFF=0, ON=127
SYNC	SW	9n	1F	dd	OFF=0, ON=127
JOG TOUCH	SW	9n	20	dd	OFF=0, ON=127
REVERSE	SW	9n	21	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1/3	GUI button	9n	22	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 3/4	GUI button	9n	23	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1/16	GUI button	9n	24	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1/8	GUI button	9n	25	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1/4	GUI button	9n	26	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1/2	GUI button	9n	27	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1	GUI button	9n	28	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 2	GUI button	9n	29	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 4	SW/GUI button	9n	2A	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 8	GUI button	9n	2B	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 16	GUI button	9n	2C	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 32	GUI button	9n	2D	dd	OFF=0, ON=127
EJECT	SW	9n	2F	dd	OFF=0, ON=127
TAG TRACK	SW	9n	30	dd	OFF=0, ON=127
BACK	SW	9n	32	dd	OFF=0, ON=127
ENCODER PUSH	SW	9n	33	dd	OFF=0, ON=127
BEAT JUMP FWD	GUI button	9n	38	dd	OFF=0, ON=127
BEAT JUMP REV	GUI button	9n	39	dd	OFF=0, ON=127
SLIP	SW	9n	3A	dd	OFF=0, ON=127
SLIP REVERSE	SW	9n	3B	dd	OFF=0, ON=127

n はチャンネル番号です。

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートサイトへアクセスして、[CDJ-2000NXS2]の[よくある質問]を確認してください。
<http://pioneerdj.com/support/>
 また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、42 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
ディスクが取り出せない。	[EJECT/LOAD LOCK]を[LOCK]に設定していませんか？	[PLAY/PAUSE▶/III] ボタンを押して一時停止してから [DISC EJECT▲] ボタンを押してください。 [UTILITY]内の[EJECT/LOAD LOCK]を[UNLOCK]に設定して[DISC EJECT▲] ボタンを押してください。
	—	[DISC EJECT▲] ボタンが動かないときは、ディスク強制取り出し穴にピンを挿入して取り出してください。
ディスクをセットしても再生が始まらない。	再生できるディスクまたはファイルですか？ オートキュー機能が働いていませんか？	5 ページの「使用できるメディア」をご覧ください。 [AUTO CUE]を1秒以上押して、オートキュー機能を解除してください。
ファイルを再生できない。	ファイルが著作権保護 (DRM) されていますか？	著作権保護されているファイルは再生できません。
音が出ない、ひずむ、またはノイズが出る。	接続している DJ ミキサーが正しく操作されていますか？ 本機とテレビを近くに設置していませんか？	DJ ミキサーの操作を確認してください。 テレビの電源をオフにしてください。または本機とテレビを離して設置してください。
特定のディスクを再生すると、大きなノイズが出るまたは再生が停止する。	ディスクに傷がついていませんか？ ディスクが汚れていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。 ディスクの汚れを拭き取ってください。(p.42)
ファイルの情報が正しく表示されません。	[LANGUAGE]が適切に設定されていますか？ 本機が対応していない言語で情報が記述されていませんか？	[LANGUAGE]を適切な言語に設定してください。 DJ ソフトウェアなどを使ってファイルを作成するときは、本機が対応している言語で情報を記述してください。
トラックサーチが終わらない。	オートキュー機能が働いていませんか？	曲間の無音部分が長いときは、トラックサーチに時間がかかることがあります。 10 秒以内にトラックサーチできないときは、トラックの先頭がキューポイントに設定されます。
バックキュー機能が動かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください (p.23)。
ループプレイ機能が動かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください (p.23)。
設定が記憶されません。	設定を変更したあと、すぐに電源をオフしていませんか？	設定を変更したあとは、10 秒以上経過してから電源をオフにしてください。
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスが正しく接続されていますか？ USB ハブを経由して接続していませんか？ 本機が対応している USB デバイスですか？	奥までしっかり差し込んでください。 USB ハブは使えません。 USB マスストレージクラスの機器に対応しています。 rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスに対応しています。
	ファイルフォーマットが本機に対応していますか？	接続している USB デバイスのファイルフォーマットを確認してください。本機が対応しているファイルフォーマットについては、6 ページの「USB デバイスについて」をご覧ください。
	—	電源をオンし直してください。
記録メディア (SD, USB) にキューポイントまたはループが記憶されません。	制限数以上のポイントを記録しようとしていませんか？	記録メディア (SD, USB) に記録できるキューポイントまたはループポイントは、ディスク 1 枚当たり 100 か所です。また、ディスク以外のメディアでは、1 トラック当たり 10 か所です。 制限数以上のポイントを記録しようとすると [CUE/LOOP POINT FULL] が表示され記録できません。この場合は、いくつかのポイントを削除してから、記憶させてください。
	記録メディア (SD, USB) が書き込み禁止に設定していませんか？	SD メモリーカードが書き込み禁止に設定されているときは、[CARD PROTECTED] と表示され記録できません。また、USB デバイスが書き込み禁止に設定されているときは、[USB FULL] と表示され記録できません。書き込み禁止の設定を解除してから、再度記憶させてください。
	記録メディア (SD, USB) に十分な空き容量がありますか？	SD メモリーカードの空き容量が足りないときは、[CARD FULL] と表示され記録できません。また、USB デバイスの空き容量が足りないときは、[USB FULL] と表示され記録できません。空き容量を確保してから、再度記憶させてください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
記録メディア (SD, USB) に記録されている曲のキューポイントまたはループが表示されない。	前回 USB デバイスを取り外すときに、正しく停止処理を行いましたか？	停止処理を行わずに取り外すまたは本機の電源をオフにすると、表示されないことがあります。 記録メディア (SD, USB) を取り外したり、本機の電源をオフにする前に、SD メモリーカードインジケータや USB インジケータが点滅していないことを確認してください。
ホットキュー記録モードを呼び出したときやループ実行時にボタンを押したり、逆再生実行時にレバーを倒しても、瞬時に開始されない。	クオンタイズ機能がオンになっていませんか？	クオンタイズ機能がオンになっていると、ボタンを押したりレバーを倒したときに最も近い拍位置から開始されます。ボタンを押したりレバーを倒した瞬間に動作させたい場合は、クオンタイズ機能をオフにしてください。
プレーイングアドレス表示が残り時間表示で表示されない。	—	VBR で記録されているファイルを再生しているときは、曲の長さがすぐにはわからないことがあるためプレーイングアドレス表示が表示されるまでに時間がかかることがあります。
記録メディア (SD, USB) (フラッシュメモリーまたはハードディスク) の読み込みに時間がかかる。	記録メディア (SD, USB) に大量のフォルダまたはファイルが記録していませんか？ 記録メディア (SD, USB) に音楽ファイル以外のファイルを保存していませんか？	フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。 音楽ファイル以外のファイルがフォルダー内にあるときも読み込みに時間がかかるので、音楽ファイル以外のファイル、フォルダーは入れないようにしてください。
ライブラリーブラウズできない。	ライブラリー情報が記録されているメディアをセットしていますか？	ライブラリー情報が記録されているメディアをセットしているときだけライブラリーブラウズで表示できます。ライブラリー情報が記録されていないメディアをセットしたときはフォルダーブラウズで表示します。
[HISTORY] が表示されない。	記録メディア (SD, USB) をセットしていますか？	[HISTORY] は、記録メディア (SD, USB) をセットしている DJ プレーヤーでお使いいただける機能です。
何も表示されない。	オートスタンバイ機能が動いていませんか？	本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[AUTO STANDBY] を [OFF] に設定してください。(p.35)
目盛表示がされない。	曲の長さが 15 分以上ありませんか？	再生時間が 15 分以上ある曲の場合は目盛表示は行われません。(p.17)
PRO DJ LINK がうまく動かない。	プレーヤー番号が正しく設定されていますか？ LAN ケーブルが正しく接続されていますか？ スイッチングハブの電源がオンになっていますか？ スイッチングハブに不要な機器が接続されていますか？	[PLAYER No.] を [AUTO] または現在の設定とは異なる番号に変更してください。(p.35) LAN ケーブルを [LINK] 端子に正しく接続してください。 スイッチングハブの電源をオンにしてください。 スイッチングハブから不要な機器を取り外してください。
画面をタッチしても反応しない、または反応が悪い。実際にタッチした場所と違う位置が反応する。	タッチディスプレイのキャリブレーション調整がずれている。	[UTILITY] 画面の [TOUCH DISPLAY CALIBRATION] 設定でタッチディスプレイを調整してください。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点 (輝点) が現れることがあります。これは液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所でお使いになるときは、本機の電源をオンにしたあとしばらく液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

タッチディスプレイのクリーニングについて

タッチディスプレイの表面をクリーニングするときは、有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。乾いた柔らかい布、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。

エラー表示

本機が正常に動作できないときは表示部にエラーコードを表示します。以下の表で確認して処置してください。以下の表にないエラーコードが表示されるときや、処置しても同じエラーコードが表示されるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-7201	CANNOT READ DISC	TOC データが読み取れない。	ディスクにひび割れがある。→ ディスクを交換してください。
E-8301	CANNOT READ DISC	正常に演奏できないディスクがセットされている。	ディスクが汚れている。→ ディスクをクリーニングしてください。 他のディスクで正常に動作するときはディスクに原因があります。
E-8302	CANNOT PLAY TRACK(****)	ディスク内のまたは記録メディア (SD, USB) 内のトラックデータ (ファイル) が正常に読み取れない。	トラックデータ (ファイル) が破損している可能性があります。→ 本機と同じフォーマットを再生できる別のプレーヤーなどで、トラック (ファイル) が再生できるか確認してください。
E-8304 E-8305	UNSUPPORTED FILE FORMAT	正常に演奏できない音楽ファイルをロードしている。	フォーマットに従っていない。→ フォーマットに従った音楽ファイルに交換してください。
E-9101	MECHANICAL TIMEOUT	ディスクの読み込み中または取り出し中にメカエラー (タイムアウト) になった。	規定時間内にメカ動作が終了しなかったときに表示されます。

本体表示部表示アイコン一覧

 ジャンル	 プレーヤー番号 (1~4)	 SD	 フォルダー開	 コメント
 アーティスト	 ホットキュー	 コンピューター	 フォルダー閉	 WAIT
 アルバム	 ディスク	 年	 リミキサー	 rekordbox
 トラック / ファイル名	 タグリスト登録済み	 レーベル会社	 オリジナル アーティスト	 ミキサー
 プレイリスト HISTORY ホットキューバンク リスト	 テンポ (BPM)	 キー	 サーチ	 レーティング編集
 レーティング	 カラー	 ビットレート	 DJ プレイカウント	
 時間	 USB	 再生中	 ライブラリ追加日	

iPod/iPhone/iPad について

- 本製品は、Pioneer DJ サポートサイトに記載されている iPod/iPhone/iPad のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。(http://pioneerdj.com/support/)
- Pioneer DJ サポートサイトに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様の iPod/iPhone/iPad にインストールした場合、本製品との互換がなくなる場合があります。
- iPod/iPhone/iPad の動作に関しては保障致しかねますのでご了承ください。
- 使用時に iPod/iPhone/iPad のデータ等が消失した場合でも、その保証については責任を負いかねますのでご了承ください。
- iPod/iPhone/iPad は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書(クイックスタートガイド)」の12ページに記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書(取扱説明書(クイックスタートガイド)の裏表紙に記載)

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書(レシート、納品書、受注メールなど)が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

本書の39ページの「故障かな?と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかをご確認ください。それでも正常に動作しないときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名: マルチプレーヤー
- 型番: CDJ-2000NXS2
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作(使用したメディアも)で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

使用上のご注意

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに1~2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起ることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このようなときは、「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販のクリーニングディスクはレンズを破損する恐れがありますので、使わないでください。

ディスクの取り扱い

保管

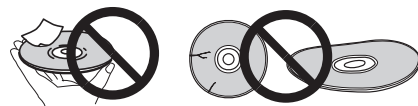
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やほこりが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使わないでください。



- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使わないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使わないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞り汚れを拭き取ったあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使わないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからお使いください。



特殊な形のディスクについて

本機は一般の12cmディスク以外の異形ディスクは再生できません(故障・事故の原因になることがあります)。本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはお使いにならないでください。



ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからお使いください。

商標および登録商標について

- Pioneer DJ は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。rekordbox および KUVO は、Pioneer DJ 株式会社の登録商標または商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- SD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- **DVD** は DVD フォーマットロゴライセンス (株) の商標です。
- 「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone あるいは iPad 専用接続に設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod、iPhone あるいは iPad と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

Made for



iPod



iPhone



iPad

- Apple、iPad、iPod、iPod touch、iTunes、Mac、Mac OS、および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- iOS は、US その他の国でシスコが商標権を有する商標です。
- Android™ は Google Inc. の商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利目的での (収益の発生するような)、実際の放送 (地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送)、インターネットやイントラネット (企業内ネット) あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム (音楽の有料配信など) のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

Apple Lossless Audio Codec

Copyright © 2011 Apple Inc. All rights reserved.
Licensed under the Apache License, Version 2.0. You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

以下、ソフトウェアライセンスの翻訳を提供しています。これらの翻訳は公式文書ではありません。
原文は英語を参照してください。
Copyright © 2011 Apple Inc. All rights reserved.
Apache License Version 2.0 に基づいてライセンスされます。本ライセンスのコピーは下記の場所から入手できます。
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

FLAC

FLAC Decoder
Copyright © 2000-2009 Josh Coalson
Copyright © 2011-2014 Xiph.Org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 音楽管理ソフトウェア rekordbox は、保証書に記載されている無料修理等の対象ではありません。rekordbox をご利用するにあたっては、rekordbox の「ソフトウェア使用許諾契約書」の条項をよくお読みください。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2015 Pioneer DJ 株式会社 禁無断転載
<DRJ1038-A>